令和３年度

福知山市企業会計決算審査意見書

福知山市水道事業会計

福知山市下水道事業会計

福知山市病院事業会計

福知山市監査委員

監査第３５６号
令和４年８月３０日

福知山市長　大　橋　一　夫　様

福知山市監査委員　長　坂　　勉

福知山市監査委員　柴　田　　実

決算審査意見について

地方公営企業法第３０条第２項の規定により審査に付された令和３年度福知山市企業会計決算を審査した結果について、別紙のとおりその意見を提出します。

令和３年度福知山市企業会計決算審査意見書

目　　次

審査の対象　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１
審査の期間　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１
審査の方法　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１
審査の結果　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１

水道事業会計

１　業務実績　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３
２　予算執行状況について　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　６
３　経営状況（損益収支）について　・・・・・・・・・・・・・・・・　８
４　財政状況（貸借対照表）について　・・・・・・・・・・・・・・・　１０
５　キャッシュ・フローについて　・・・・・・・・・・・・・・・・・　１５
６　むすび　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１６

水道事業会計決算審査資料

１　損益計算書構成並びにすう勢比率表　・・・・・・・・・・・・・　１９
２　貸借対照表構成並びにすう勢比率表　・・・・・・・・・・・・・　２０
３　令和３年度配水量調べ　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２１
４　企業債の償還予定表　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２２

下水道事業会計

１　業務実績　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２３
２　予算執行状況について　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２６
３　経営状況（損益収支）について　・・・・・・・・・・・・・・・・　２８
４　財政状況（貸借対照表）について　・・・・・・・・・・・・・・・　３１
５　キャッシュ・フローについて　・・・・・・・・・・・・・・・・・　３６
６　むすび　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３７

下水道事業会計決算審査資料

１　損益計算書構成並びにすう勢比率表　・・・・・・・・・・・・・　４０
２　貸借対照表構成並びにすう勢比率表　・・・・・・・・・・・・・　４１
３　企業債の償還予定表　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４２

病院事業会計

１　業務実績　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４３

２　予算執行状況について　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４７

３　経営状況（損益収支）について　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５０

４　財政状況（貸借対照表）について　・・・・・・・・・・・・・・・・・　５４

５　キャッシュ・フローについて　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　６０

６　むすび　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　６１

病院事業会計決算審査資料

１　損益計算書構成並びにすう勢比率表〔市民病院〕　・・・・・・　６３

２　損益計算書構成並びにすう勢比率表〔大江分院〕　・・・・・・　６４

３　貸借対照表構成並びにすう勢比率表〔市民病院〕　・・・・・・　６５

４　貸借対照表構成並びにすう勢比率表〔大江分院〕　・・・・・・　６６

５　診療科目別・月別入院患者数の状況表〔市民病院〕　・・・・・　６７

６　診療科目別・月別外来患者数の状況表〔市民病院〕　・・・・・　６８

７　診療科目別・月別患者数の状況表〔大江分院〕　・・・・・・・　６９

８　企業債の償還予定表〔市民病院〕　・・・・・・・・・・・・・・　７０

９　企業債の償還予定表〔大江分院〕　・・・・・・・・・・・・・・　７１

表記に関する注意事項

１　表中で割合を算出しているものは、小数点以下第3位を四捨五入している。

２　表中の割合は、内訳の計と合計 100％と一致しない場合がある。

決 算 審 査 意 見 書

審査の対象

福知山市水道事業会計決算

福知山市下水道事業会計決算

福知山市病院事業会計決算

審査の期間

令和4年6月24日から令和4年8月10日まで

審査の方法

決算審査は、市長から送付された決算諸表が法令に準拠して作成され、事業の財政状態並びに経営成績が適正に表示されているかどうかを、会計帳簿、証ひょう書類と照合したほか、関係職員の説明を聴取して実施した。

審査の結果

決算書類は、地方公営企業関係法令にしたがって作成されており、財政状態及び経営成績は適正に表示されているものと認めた。

なお、財政状態及び経営成績について、計数を分析比較して検討した概数は、次のとおりである。

福 知 山 市 水 道 事 業 会 計

水　道　事　業

1　業務実績

令和3年度末の給水戸数は、前年度に比べ 215 戸(0.60%)増加し、3 万 6,134 戸となっている。

また、給水人口では、前年度に比べ 546 人(0.72%)減少し、7 万 5,770 人となり、総人口 7 万 6,037 人に対する普及率は 99.65%となっている。

年間給水量は、前年度に比べ 12 万 8,872 ㎥(1.38%)減少し、923 万 1,248 ㎥となっている。これは予算に定められた年間総給水量 926 万 7,000 ㎥の 99.61%である。

一方、給水量 1 ㎥当たりの損益については、3.04 円の損失となっているが、当年度の収支差引は 1 億 3,550 万 3,896 円の純利益となっている。

業務実績を前年度と比較すると次のとおりである。

＜業務実績前年度比較＞

項　　目	令和3年度	令和2年度	増減	摘　　要
総　世　帯　数(世帯)	36,412	36,343	69	年度末現在
総　　人　　口（人）①	76,037	76,584	△547	年度末現在 総人口＝給水区域内人口
計画給水人口（人）	79,330	79,330	－	
現在給水人口（人）②	75,770	76,316	△546	年度末現在
普　　及　　率（%）	99.65	99.65	－	②／①×100
給　水　戸　数（戸）	36,134	35,919	215	令和3年度予算に定めた業務予定量 36,000戸
年間配水量（㎥）③	11,223,260	11,670,947	△447,687	
年間給水量（㎥）④	9,231,248	9,360,120	△128,872	令和3年度予算に定めた業務予定量 9,267,000㎥
有収水量率（%）	82.25	80.20	2.05	④／③×100
職　　員　　数（人）	28	27	1	年度末現在
給水量1㎥当たり給水原価（円）	183.21	184.32	△1.11	経常費用(総費用)-(受託工事費+不用品売却原価)-長期前受金戻入／年間給水量
給水量1㎥当たり供給単価（円）	180.17	170.32	9.85	給水収益／年間給水量
給水量1㎥当たり損益（円）	△ 3.04	△14.00	10.96	供給単価-給水原価

有収水量率は 82.25%で、前年度に比べ 2.05 ポイント上回っている。

また、給水量 1 ㎥当たりの給水原価は 1.11 円減少し 183.21 円、供給単価は 9.85 円増加し 180.17 円となっている。その結果、給水量 1 ㎥当たりの損益としては 3.04 円の損失となっているが、前年度に比べると 10.96 円改善している。

配水量に対する効率を年度別に比較すると次のとおりである。

＜配水量等年度別比較＞

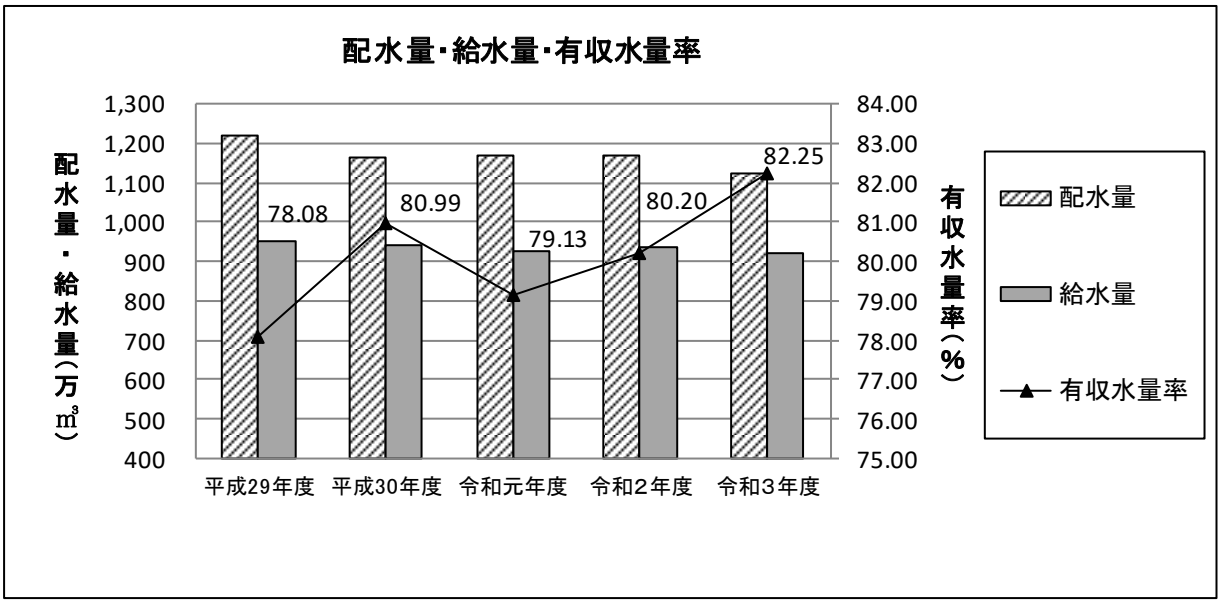
（単位：㎥・%）

区　分	令和３年度		令和２年度		令和元年度		令和３年度対令和２年度	
		構成比率		構成比率		構成比率	比較増減	増減率
配　水　量	11,223,260	100.00	11,670,947	100.00	11,677,558	100.00	△ 447,687	△ 3.84
１　有効水量	10,093,824	89.94	10,154,555	87.01	10,052,311	86.08	△ 60,731	△ 0.60
(1)有収水量	9,231,248	82.25	9,360,120	80.20	9,240,926	79.13	△ 128,872	△ 1.38
(2)無収水量	862,576	7.69	794,435	6.81	811,385	6.95	68,141	8.58
２　無効水量	1,129,436	10.06	1,516,392	12.99	1,625,247	13.92	△ 386,956	△ 25.52

有効水量は、前年度と比較して 6 万 731 ㎥(0.60%)減少している。

無効水量は、前年度より 38 万 6,956 ㎥(25.52%)減少し 112 万 9,436 ㎥となり、配水量に対する割合は、前年度より 2.93 ポイント改善している。

最近5か年の配水量、給水量、有収水量率の推移をグラフに示すと次の図のとおりである。



最近5か年の配水量及び給水量は大きな変化はなく推移している。

配水量に対する給水量の比率を示す有収水量率は、配水管布設替えによる老朽管の更新や包括的民間委託業者の漏水調査及び漏水箇所の修繕などが進み、令和3年度は、前年度に比べ 2.05 ポイント向上している。

2 予算執行状況について（消費税及び地方消費税を含む。）

（1）収益的収支

事業収益について、予算額に対する決算額の状況は、次のとおりである。

＜収益的収入＞

（単位：円・％）

科目	予算額（うち前年度予算繰越額）	構成比率 3年度	構成比率 2年度	決算額（うち仮受消費税及び地方消費税）	構成比率 3年度	構成比率 2年度	予算額に対する決算割合 3年度	予算額に対する決算割合 2年度
事業収益	2,403,833,000	100.00	100.00	2,364,492,417	100.00	100.00	98.36	97.62
営業収益	1,894,879,000	78.83	74.93	1,863,653,702 (168,941,612)	78.82	75.29	98.35	98.10
営業外収益	500,921,000	20.84	24.73	500,838,715 (596,526)	21.18	24.71	99.98	97.54
特別利益	8,033,000	0.33	0.34	0	－	－	－	－

予算額に対する決算割合は 98.36％で、前年度に比べ 0.74 ポイント上回っている。

事業費用について、予算額に対する決算額の状況は、次のとおりである。

＜収益的支出＞

（単位：円・％）

科目	予算額（うち前年度予算繰越額）	構成比率 3年度	構成比率 2年度	決算額（うち仮払消費税及び地方消費税）	構成比率 3年度	構成比率 2年度	予算額に対する決算割合 3年度	予算額に対する決算割合 2年度
事業費用	2,315,271,000 (20,710,000)	100.00	100.00	2,181,684,331	100.00	100.00	94.23	93.50
営業費用	2,089,115,108 (20,710,000)	90.23	90.82	1,957,728,439 (67,220,460)	89.73	90.28	93.71	92.94
営業外費用	223,955,892	9.67	9.09	223,955,892	10.27	9.72	100.00	100.00
予備費	2,200,000	0.10	0.09	0	－	－	－	－

予算額に対する決算割合は 94.23％で、前年度に比べ 0.73 ポイント上回っている。

（2）資本的収支

資本的収支について、予算額に対する決算額の状況は、次のとおりである。

＜資本的収支＞

（単位:円・%）

科目		予算額（うち前年度予算繰越額）	構成比率 3年度	構成比率 2年度	決算額（うち仮受・仮払消費税及び地方消費税）	構成比率 3年度	構成比率 2年度	予算額に対する決算割合 3年度	予算額に対する決算割合 2年度
資本的収入		1,435,981,000 (165,044,000)	100.00	100.00	843,585,253	100.00	100.00	58.75	72.78
	企業債	956,600,000 (135,400,000)	66.62	64.16	418,200,000	49.57	54.18	43.72	61.47
	負担金	94,555,000 (29,644,000)	6.58	3.09	56,939,124 (1,044,657)	6.75	2.17	60.22	51.14
	加入金	50,306,000	3.50	5.55	56,885,400 (5,171,400)	6.74	6.51	113.08	85.34
	出資金	218,401,000	15.21	16.45	218,402,729	25.89	22.61	100.00	100.00
	補助金	112,683,000	7.85	10.53	93,158,000	11.04	14.53	82.67	100.42
	固定資産売却代金	3,436,000	0.24	0.22	－	－	－	－	－
資本的支出		2,340,131,260 (208,538,260)	100.00	100.00	1,653,205,736	100.00	100.00	70.65	82.65
	建設改良費	1,457,611,260 (208,538,260)	62.29	60.46	770,685,905 (65,928,190)	46.62	52.16	52.87	71.30
	企業債償還金	882,520,000	37.71	39.54	882,519,831	53.38	47.84	100.00	99.99
収支不足額		△904,150,260	－	－	△809,620,483	－	－	89.54	98.19
補てん財源	損益勘定留保資金	774,912,260	85.71	87.64	722,384,978	89.23	87.99	93.22	98.59
	減債積立金	40,000,000	4.42	4.63	40,000,000	4.94	4.72	100.00	100.00
	消費税及び地方消費税資本的収支調整額	89,238,000	9.87	7.73	47,235,505	5.83	7.29	52.93	92.62
	計	904,150,260	100.00	100.00	809,620,483	100.00	100.00	89.54	98.19

決算額における資本的収入額は8億4,358万5,253円、資本的支出額は16億5,320万5,736円で、収支不足額8億962万483円は、補てん財源の損益勘定留保資金7億2,238万4,978円、減債積立金4,000万円、消費税及び地方消費税資本的収支調整額4,723万5,505円で補てんされている。

3 経営状況（損益収支）について （消費税及び地方消費税を除く。）

損益収支の状況を年度別に比較すると、次のとおりである。

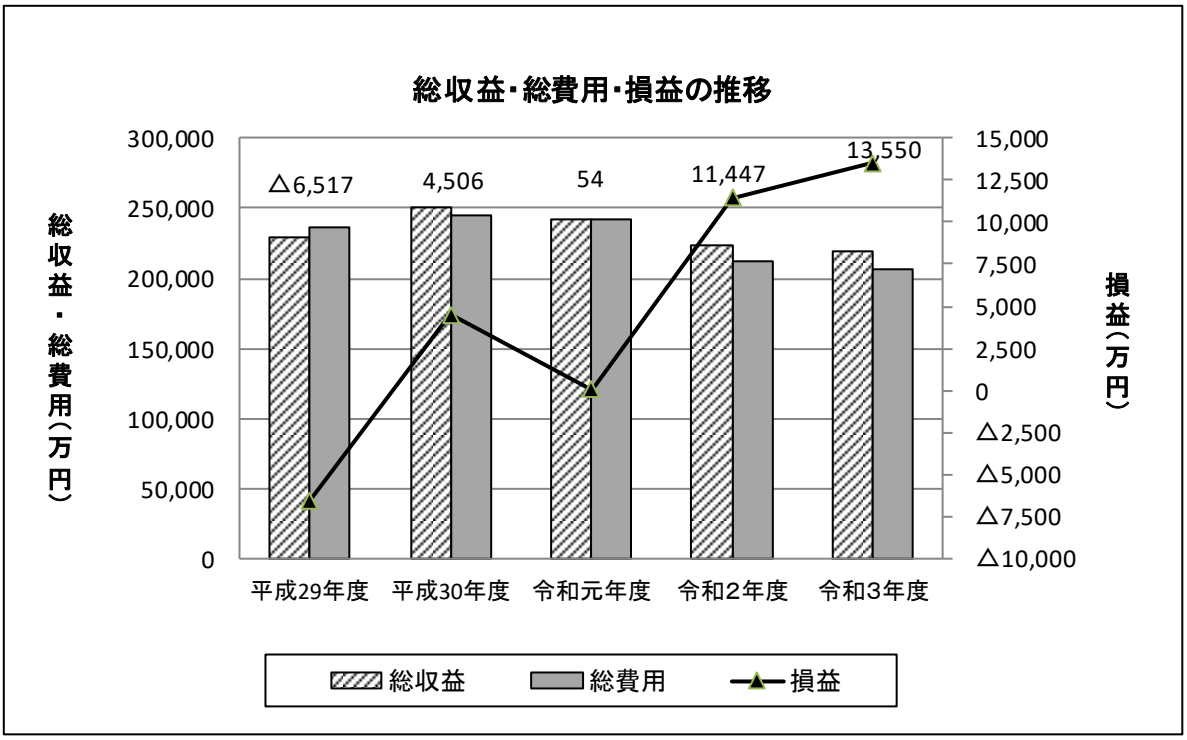
＜損益収支の年度別比較＞

（単位：円・％）

区　分	令和3年度	令和2年度	令和元年度	令和3年度対令和2年度	
				比較増減	増減率
総　収　益	2,194,954,279	2,241,024,247	2,421,101,081	△46,069,968	△ 2.06
総　費　用	2,059,450,383	2,126,558,568	2,420,562,172	△67,108,185	△ 3.16
損　　益	135,503,896	114,465,679	538,909	21,038,217	18.38

損益は、前年度に比べ総収益が 4,606 万 9,968 円、総費用が 6,710 万 8,185 円と共に減少した。総収益が総費用を上回り 1 億 3,550 万 3,896 円の黒字となっており、損益収支は前年度に比べ 2,103 万 8,217 円増加している。

総収益、総費用及び損益の最近5か年の推移は下記の図のとおりである。



平成 29 年度では赤字であった損益収支は、平成 30 年度以降４年連続で黒字となっている。

令和３年度の損益収支は、令和２年度に大きく改善した損益収支を上回る黒字決算となっている。

事業費用を性質別に分類して、年度別に比較すると次のとおりである。

＜性質別に分類した事業費用の年度別比較＞

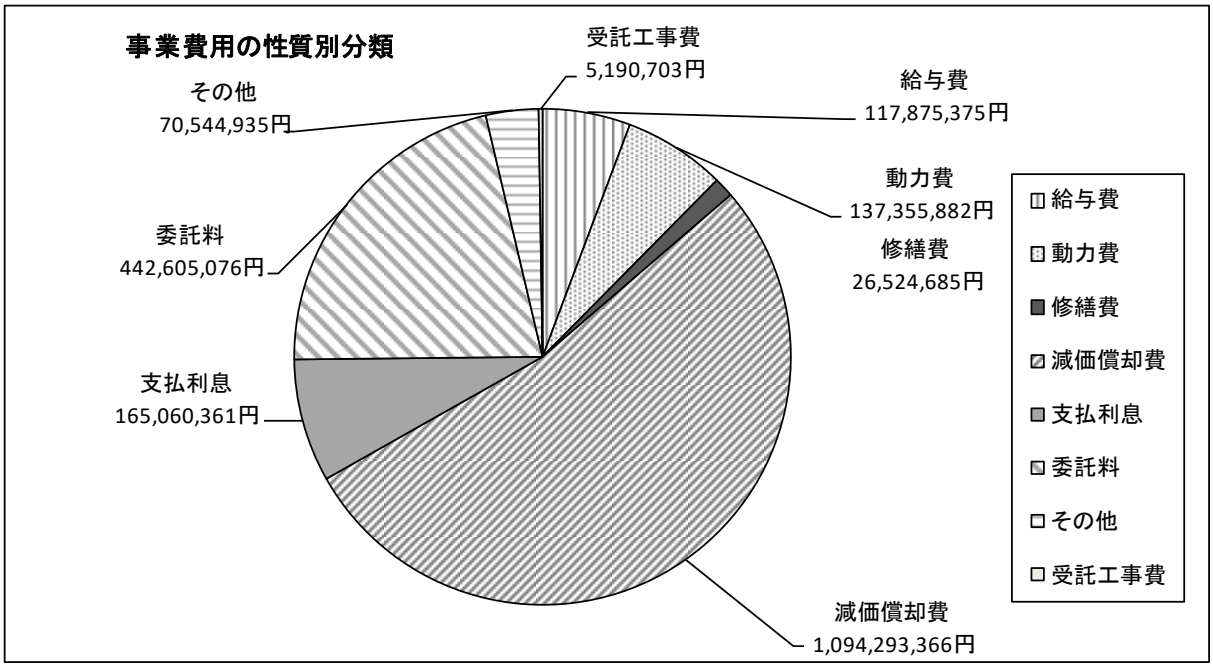
（単位：円・％）

性質別分類	令和３年度		令和２年度		令和元年度		令和3年度対令和2年度	
	金　額	構成比率	金　額	構成比率	金　額	構成比率	比較増減	増減率
給　与　費	117,875,375	5.72	114,485,187	5.38	107,467,087	4.44	3,390,188	2.96
動　力　費	137,355,882	6.67	146,222,970	6.88	150,836,044	6.23	△8,867,088	△6.06
修　繕　費	26,524,685	1.29	38,601,199	1.82	50,635,287	2.09	△12,076,514	△31.29
減価償却費	1,094,293,366	53.14	1,098,986,671	51.68	1,117,984,121	46.19	△4,693,305	△0.43
支払利息	165,060,361	8.01	180,587,651	8.49	197,508,956	8.16	△15,527,290	△8.60
委　託　料	442,605,076	21.49	436,190,700	20.51	456,563,700	18.86	6,414,376	1.47
そ　の　他	70,544,935	3.43	76,763,910	3.61	91,021,894	3.76	△6,218,975	△8.10
受託工事費	5,190,703	0.25	34,720,280	1.63	248,545,083	10.27	△29,529,577	△85.05
計	2,059,450,383	100.00	2,126,558,568	100.00	2,420,562,172	100.00	△67,108,185	△3.16

（注）給与費は、給料、手当等、賃金、報酬、法定福利費、賞与引当金繰入額である。

事業費用は、前年度に比べ 6,710 万 8,185 円(3.16％)減少している。

性質別に分類した費用は、給与費と委託料を除き前年度に比べて減少しており、その主なものは受託工事費、支払利息、修繕費等である。



4 財政状況（貸借対照表）について

（1）資 産

固定資産・流動資産を前年度と比較すると、次のとおりである。

＜資産の前年度比較＞

（単位：円）

区　分	令和3年度	令和2年度	増　減
固定資産	21,899,465,127	22,267,108,567	△367,643,440
有形固定資産	21,886,860,067	22,252,896,367	△366,036,300
無形固定資産	10,958,800	12,565,940	△1,607,140
投資その他の資産	1,646,260	1,646,260	0
流動資産	1,638,407,277	1,633,770,401	4,636,876
現金預金	1,303,908,509	1,339,712,976	△35,804,467
未収金	232,182,694	255,912,017	△23,729,323
貸倒引当金	△2,774,984	△3,832,341	1,057,357
貯蔵品	38,485,278	38,778,399	△293,121
前払金	62,800,000	－	62,800,000
前払費用	8,470	－	8,470
その他流動資産	3,797,310	3,199,350	597,960
資産合計	23,537,872,404	23,900,878,968	△363,006,564

資産は、前年度に比べ 3 億 6,300 万 6,564 円（1.52%）減少している。

固定資産は、218 億 9,946 万 5,127 円で前年度に比べ 3 億 6,764 万 3,440 円（1.65%）減少している。

流動資産は、16 億 3,840 万 7,277 円で前年度に比べ 463 万 6,876 円（0.28%）増加している。

貯蔵品（材料、量水器等）のたな卸については、現品過不足なく正確に処理されている。

有形固定資産の増減状況は、次のとおりである。

＜有形固定資産の増減状況＞

（単位:円）

項　　目	増加したもの		減少したもの		増　減
	金　額	説　明	金　額	説　明	
建　　物	4,872,260	施設用建物 4,872,260	680,966	施設用建物 680,966	4,191,294
構　築　物	449,870,750	送水管 12,097,522 原水及び浄水設備 5,623,716 配水管 401,756,621 配水設備 27,865,876 その他構築物 2,527,015	17,487,825	配水管 17,430,223 配水設備 57,602	432,382,925
機械及び装置	89,323,644	電気設備 49,098,504 ポンプ設備 336,610 塩素滅菌設備 1,228,040 量水器 1,527,878 その他機械装置 37,132,612	6,941,717	量水器 741,717 その他機械装置 6,200,000	82,381,927
工具器具備品	38,497,433	工具器具備品 38,497,433	13,539,000	工具器具備品 13,539,000	24,958,433
建設仮勘定	294,296,000	未供用資産 294,296,000	149,861,372	供用開始による振替 149,861,372	144,434,628
計	876,860,087	－	188,510,880	－	688,349,207

有形固定資産の差引増加額は、6 億 8,834 万 9,207 円である。

年度末における有形固定資産の現在高は 392 億 7,819 万 3,936 円で減価償却累計額 173 億 9,133 万 3,869 円を控除すると年度末の償却未済額は 218 億 8,686 万 67 円である。

債権放棄により不納欠損処分されたものは、次のとおりである。

＜不納欠損処分の内訳＞

債権名	人数(人)	件数(件)	金額(円)	理由別内訳			
水 道 料 金	190	601	1,057,357	破産免責	4 人	11 件	18,560 円
				時効到来	186 人	590 件	1,038,797 円
計	190	601	1,057,357				

債権放棄は、福知山市債権管理条例第 11 条第 1 項各号の規定により行われており、不納欠損は前年度に比べ 43 人、140 件、54 万 8,874 円減少している。

(2) 負 債

固定負債を前年度と比較すると、次のとおりである。

＜固定負債の前年度比較＞

(単位:円)

科 目	令和3年度	令和2年度	増 減
企 業 債	9,403,378,999	9,890,397,291	△487,018,292
引 当 金	124,889,406	124,889,406	0
計	9,528,268,405	10,015,286,697	△487,018,292

固定負債は、前年度に比べ 4 億 8,701 万 8,292 円(4.86%)減少して 95 億 2,826 万 8,405 円となっている。

企業債は、翌年度の償還額が流動負債に振り替えられたことにより 9 億 521 万 8,292 円減少したが、新規借入れが 4 億 1,820 万円あるため 4 億 8,701 万 8,292 円の減少となっている。引当金については、前年度と増減はない。

流動負債を前年度と比較すると次のとおりで、不良債務はない。

＜流動負債の前年度比較＞

（単位：円）

科　　目	令和3年度	令和2年度	増　　減
企　　業　　債	905,218,292	882,519,831	22,698,461
未　　払　　金	326,250,238	351,578,889	△25,328,651
前　　受　　金	152,600	422,000	△269,400
預　　り　　金	20,771,316	96,972,226	△76,200,910
引　　当　　金	13,075,673	13,986,479	△910,806
そ の 他 流 動 負 債	3,797,310	3,199,350	597,960
計	1,269,265,429	1,348,678,775	△79,413,346

流動負債は、前年度に比べ 7,941 万 3,346 円（5.89％）減少し、12 億 6,926 万 5,429 円となっている。その主な要因は、企業債は 2,269 万 8,461 円増加したが、工事代金などにかかる未払金が 2,532 万 8,651 円減少したこと、下水道事業会計への預り下水道使用料の支払済額の増などにより預り金が 7,620 万 910 円減少したことによるものである。

繰延収益を前年度と比較すると、次のとおりである。

＜繰延収益の前年度比較＞

（単位：円）

科　　目	令和3年度	令和2年度	増　　減
長　期　前　受　金	12,971,950,421	12,763,958,791	207,991,630
長期前受金収益化累　計　額	△6,077,158,920	△5,718,685,739	△358,473,181
計	6,894,791,501	7,045,273,052	△150,481,551

繰延収益は、前年度に比べ 1 億 5,048 万 1,551 円（2.14％）減少し、68 億 9,479 万 1,501 円となっている。

（3）資本金

資本金を前年度と比較すると、次のとおりである。

＜資本金の前年度比較＞

（単位：円）

科　　目	令和3年度	令和2年度	増　　減
資　本　金	3,929,091,474	3,670,688,745	258,402,729
自己資本金	3,929,091,474	3,670,688,745	258,402,729
固有資本金	1,356,798,305	1,356,798,305	0
出　資　金	1,336,389,598	1,117,986,869	218,402,729
組入資本金	1,235,903,571	1,195,903,571	40,000,000

資本金は、前年度に比べ2億5,840万2,729円（7.04％）増加し、39億2,909万1,474円となっている。

出資金は、一般会計からの繰入金により前年度に比べ2億1,840万2,729円（19.54％）増加している。

組入資本金は、未処分利益剰余金からの組み入れにより前年度に比べ4,000万円（3.34％）増加している。

（4）剰余金

剰余金を前年度と比較すると、次のとおりである。

＜剰余金の前年度比較＞

（単位：円）

科　　目	令和3年度	令和2年度	増　　減
剰　余　金	1,916,455,595	1,820,951,699	95,503,896
資本剰余金	1,375,231,902	1,375,231,902	0
受贈財産評価額	146,149,849	146,149,849	0
国府補助金	218,205,663	218,205,663	0
工事負担金	67,146,954	67,146,954	0
その他資本剰余金	943,729,436	943,729,436	0
利益剰余金	541,223,693	445,719,797	95,503,896
減債積立金	258,034,797	154,966,000	103,068,797
建設改良積立金	107,685,000	107,685,000	0
当年度未処分利益剰余金	175,503,896	183,068,797	△7,564,901

剰余金は、前年度に比べ9,550万3,896円（5.24％）増加して19億1,645万5,595円となっている。

資本剰余金に増減はなく、当年度未処分利益剰余金は前年度に比べ756万4,901円（4.13％）減少している。

5 キャッシュ・フローについて

水道事業会計におけるキャッシュ・フローは以下のとおりである。

＜キャッシュ・フローの状況＞

（単位:円）

区　　分	金　　額
A　資金期首残高	1,339,712,976
①　業務活動によるキャッシュ・フロー	780,345,626
②　投資活動によるキャッシュ・フロー	△570,232,991
③　財務活動によるキャッシュ・フロー	△245,917,102
B　資金増減額　（①＋②＋③）	△35,804,467
C　資金期末残高　（A＋B）	1,303,908,509

キャッシュ・フロー計算書の資金期末残高は、貸借対照表における流動資産の現金預金の額と一致している。

6 む す び

業務実績をみると、令和3年度末の給水戸数は前年度に比べ 215 戸増加し、3 万 6,134 戸となっている。

給水人口の減少や節水意識の高まり、節水機器の普及、単身世帯の増加等によって、近年減少傾向にあった1戸あたりの年間使用量は、令和2年度はコロナ禍による外出自粛等の影響もあり増加したが、令和3年度は再び減少に転じ、前年度に比べ 5.12 ㎥(1.96%)減の 255.47 ㎥となっている。

（参考資料）

項　　目	令和３年度	令和２年度	令和元年度
給水戸数　　(戸)	36,134	35,919	35,621
有収水量　　(㎥)	9,231,248	9,360,120	9,240,926
一戸当り使用量 (㎥)	255.47	260.59	259.42

令和3年度の損益は、次のとおりである。

事業収益については、受託工事収益は減少したものの、新型コロナウイルス感染症関連施策に伴う水道の基本料金の減免が実施された前年度と比較して、給水収益が増加したことにより、営業収益では、4,709 万 1,417 円の増収となっている。

一方、営業外収益については、他会計補助金の減少などにより、前年度に比べ 9,316 万 1,385 円の減収となっており、収益全体では前年度決算に比べ、4,606 万 9,968 円(2.06%)の減収となっている。

事業費用については、性質別分類によると給与費と委託料は増加したものの、その一方で受託工事費、支払利息、修繕費の減少、また、それ以外の項目についても減少しており、費用全体では前年度決算に比べ 6,710 万 8,185 円(3.16%)の減少となっている。

この結果、当年度収支は 1 億 3,550 万 3,896 円の純利益を計上し、前年度に引き続き黒字決算となっている。

債権の放棄による不納欠損処分は、190 人、601 件、105 万 7,357 円で、前年度に比べると 43 人、140 件、54 万 8,874 円の減少となっている。法令の規定を適用して不納欠損を行っているが、今後とも負担の公平性を確保するため、債権管理の適正を期するとともに、新たな滞納者を発生させない早期徴収体制の強化を講じるなど、収納率の向上に努めることが必要である。

企業債残高は、前年度に比べ 4.31%減少し、103 億 859 万 7,291 円となっている。企業債の支払利息は 8.60%減少し、1 億 6,506 万 361 円である。今後、管路の老朽化に伴う更新事業などが控えており、将来的な収支状況の推移も踏まえ計画的な起債の借入や償還を行う必要がある。

次に経営分析からみた経営の状況は以下のとおりである。

① 流動比率については、一年間の支払い能力を示し安全性を判断する指標であり、100%以上であることが必要であるとされている。前年度と比べ 7.94 ポイント向上しており、129.08%となっている。

② 固定資産回転率については、生産設備がどの程度経営活動に有効活用されたかを判断する指標として高いほど良いとされており、前年度から比べて 0.004 回向上し、0.077 回となっている。

③ 固定長期適合率については、固定資産が資本の範囲内で調達されているかを示す指標で 100%以下が健全とされており、前年度と比べ 0.40 ポイント向上し、98.34%となっている。

④ 営業利益率については、利益幅の程度を示す指標であり高い方が良好とされており、前年度と比べ 6.14 ポイント向上し、△11.55%となっている。今後も営業費用の削減を図るなど経営の更なる効率化を図り、利益の向上に向けてより一層の努力が必要である。

（参考資料）

① 流動比率 ＝ 流動資産 ／ 流動負債 × 100

令和３年度	令和２年度
129.08%	121.14%

② 固定資産回転率 ＝ 営業収益－受託工事収益 ／ （期末固定資産＋期首固定資産）÷2

令和３年度	令和２年度
0.077回	0.073回

③ 固定長期適合率 ＝ 固定資産 ／ 自己資本＋固定負債＋繰延収益 × 100
（自己資本＝自己資本金+剰余金）

令和３年度	令和２年度
98.34%	98.74%

④ 営業利益率 ＝ 営業利益 ／ 営業収益 × 100

令和３年度	令和２年度
△ 11.55%	△ 17.69%

水道事業を取り巻く環境は、給水人口の減少や節水型社会への移行などにより、給水収益の大幅な増加が見込めない中、老朽化した施設や管路の更新、耐震化などに多額の設備投資が必要となっており、今後も厳しい経営状況が続くものと予想される。

このような状況の中、平成 29 年度に簡易水道事業の上水道事業への統合や料金改定が行われ、令和元年度には上水道事業等包括的民間委託が導入されるなど、経営の効率化を図り、健全な経営を維持していくための取組が進められている。また、水道事業を取り巻く環境の変化や課題に対応し、社会情勢等に順応した形で、安全・強靭かつ持続的な水道事業を運営していくため、令和元年 12 月に新たな「福知山市水道事業ビジョン」が策定され、令和2年 12 月には新たな「水道事業経営戦略」も策定されたところである。

そうした中、令和3年度は前年度に引き続き黒字決算となっており、経営の健全性や効率性を示す各種経営指標は概ね改善傾向にある。しかしながら、依然として給水原価が供給単価を上回っており、今後予想される給水収益の減少や老朽化する施設の維持管理経費の増加に加えて、物価高による費用

の増加も懸念される。

今後の事業経営に当たっては、有収率の改善等による給水収益の確保や費用の節減に努め、将来にわたり水道事業の健全な運営、また安心・安全な水の確保ができるよう経営基盤の安定化を図られたい。さらに、地震などの自然災害や突発漏水から水道施設のライフラインとしての機能を確保するため、今後の財政収支の見通しを踏まえつつ、老朽化した水道施設の計画的な更新を図るとともに、危機管理体制のより一層の強化を図られたい。また、更なる業務の効率化と市民サービスの向上を図るため、引き続き包括的民間委託業務に対するモニタリングの実施、指導及び監督に努められたい。

水道事業は独立採算制を原則とした公営企業であるという経営意識を職員一人ひとりが自覚し、効率的かつ合理的な事業運営の実施により、水道事業の基盤強化を図り、市民生活や企業活動を支える最重要なライフラインとして、安心・安全で良質な水を安定供給し、市民生活の向上と地域社会の発展に寄与されるよう望むものである。

1　損益計算書構成並びにすう勢比率表

（注）すう勢比率は、令和元年度を100%とする。

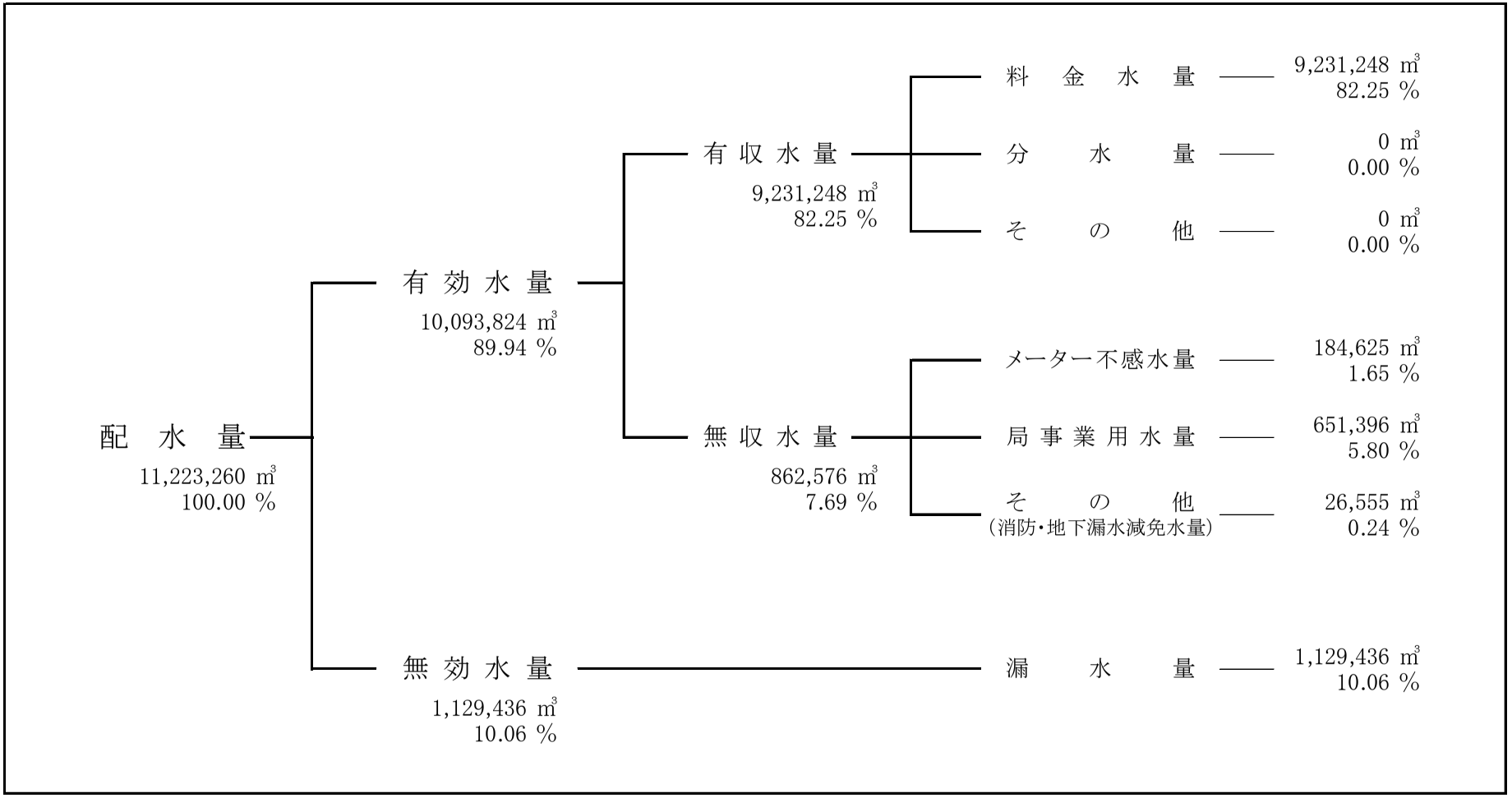
借方						貸方					
科目	金額	構成比率		すう勢比率		科目	金額	構成比率		すう勢比率	
		令和3年度	令和2年度	令和3年度	令和2年度			令和3年度	令和2年度	令和3年度	令和2年度
	円	%	%	%	%		円	%	%	%	%
1 営業費用	1,890,507,979	91.80	91.18	85.67	87.87	1 営業収益	1,694,712,090	77.21	73.52	89.61	87.12
(1) 原水及び浄水費	380,698,029	18.49	18.19	96.71	98.29	(1) 給水収益	1,663,198,380	75.77	71.14	100.06	95.91
(2) 配水及び給水費	264,334,702	12.84	12.94	93.49	97.30	(2) 受託工事収益	3,657,168	0.17	1.18	1.81	13.10
(3) 受託工事費	5,190,703	0.25	1.63	2.09	13.97	(3) その他営業収益	27,856,542	1.27	1.20	103.42	100.16
(4) 総係費	143,694,390	6.98	6.51	89.85	86.56	2 営業外収益	500,242,189	22.79	26.48	94.39	111.97
(5) 減価償却費	1,094,293,366	53.14	51.68	97.88	98.30	(1) 受取利息及び配当金	653,463	0.03	0.02	135.79	93.48
(6) 資産減耗費	2,281,375	0.11	0.23	59.02	125.68	(2) 他会計補助金	127,971,339	5.83	9.66	91.57	154.98
(7) その他営業費用	15,414	0.00	－	28.65	－	(3) 長期前受金戻入	362,960,390	16.54	16.36	96.34	97.30
2 営業外費用	168,942,404	8.20	8.82	79.03	87.73	(4) 雑収益	8,656,997	0.39	0.40	90.00	92.35
(1) 支払利息	165,060,361	8.01	8.49	83.57	91.43	補助金	－	－	0.04	－	26.75
(2) 雑支出	3,882,043	0.19	0.33	23.87	42.79						
小計	2,059,450,383	100.00	100.00	85.08	87.85						
当年度純利益	135,503,896	－	－	25,144.11	21,240.26						
合計	2,194,954,279	－	－	90.66	92.56	合計	2,194,954,279	100.00	100.00	90.66	92.56

2　貸借対照表構成並びにすう勢比率表

（注）すう勢比率は、令和元年度を100%とする。

借方						貸方					
科目	金額	構成比率		すう勢比率		科目	金額	構成比率		すう勢比率	
		令和3年度	令和2年度	令和3年度	令和2年度			令和3年度	令和2年度	令和3年度	令和2年度
	円	%	%	%	%		円	%	%	%	%
1　固定資産	21,899,465,127	93.04	93.16	97.55	99.19	1　固定負債	9,528,268,405	40.48	41.90	91.96	96.66
(1) 有形固定資産	21,886,860,067	92.99	93.10	97.54	99.17	(1) 企業債	9,403,378,999	39.95	41.38	91.86	96.62
(2) 無形固定資産	10,958,800	0.05	0.05	128.93	147.84	(2) 引当金	124,889,406	0.53	0.52	100.00	100.00
(3) 投資その他の資産	1,646,260	0.01	0.01	100.00	100.00	2　流動負債	1,269,265,429	5.39	5.64	106.20	112.85
2　流動資産	1,638,407,277	6.96	6.84	115.54	115.22	(1) 企業債	905,218,292	3.85	3.69	102.99	100.40
(1) 現金預金	1,303,908,509	5.54	5.61	107.87	110.83	(2) 未払金	326,250,238	1.39	1.47	126.78	136.62
(2) 未収金	232,182,694	0.99	1.07	142.44	157.00	(3) 前受金	152,600	0.00	0.00	19.13	52.91
貸倒引当金	△2,774,984	△0.01	△0.02	－	－	(4) 預り金	20,771,316	0.09	0.41	50.29	234.77
(3) 貯蔵品	38,485,278	0.16	0.16	98.04	98.79	(5) 引当金	13,075,673	0.06	0.06	94.28	100.84
(4) 前払金	62,800,000	0.27	－	697.78	－	(6) その他流動負債	3,797,310	0.02	0.01	133.32	112.33
(5) 前払費用	8,470	0.00	－	－	－	3　繰延収益	6,894,791,501	29.29	29.48	96.33	98.43
(6) その他流動資産	3,797,310	0.02	0.01	133.32	112.33	(1) 長期前受金	12,971,950,421	55.11	53.40	103.59	101.93
						(2) 長期前受金収益化累計額	△6,077,158,920	△25.82	△23.93	－	－
						4　資本金	3,929,091,474	16.69	15.36	113.99	106.49
						(1) 自己資本金	3,929,091,474	16.69	15.36	113.99	106.49
						5　剰余金	1,916,455,595	8.14	7.62	112.30	106.71
						(1) 資本剰余金	1,375,231,902	5.84	5.75	100.00	100.00
						(2) 利益剰余金	541,223,693	2.30	1.86	163.39	134.56
資産合計	23,537,872,404	100.00	100.00	98.62	100.14	負債資本合計	23,537,872,404	100.00	100.00	98.62	100.14

3　令和３年度配水量調べ



4　企業債の償還予定表

区分 年度	元金	利子	計
	円	円	円
令和4年度	905,218,292	149,569,364	1,054,787,656
令和5年度	863,694,050	131,721,488	995,415,538
令和6年度	844,399,402	115,771,790	960,171,192
令和7年度	809,394,971	100,668,888	910,063,859
令和8年度	751,815,782	86,919,503	838,735,285
令和9年度	657,862,183	74,716,107	732,578,290
令和10年度	607,351,165	64,251,149	671,602,314
令和11年度	551,177,095	54,685,515	605,862,610
令和12年度	465,462,927	46,307,690	511,770,617
令和13年度	391,406,072	39,604,239	431,010,311
令和14年度～令和33年度	3,460,815,352	198,664,779	3,659,480,131
合計	10,308,597,291	1,062,880,512	11,371,477,803

福知山市下水道事業会計

下 水 道 事 業

1 業務実績

令和3年度末の水洗化戸数は、前年度に比べ 143 戸(0.48%)増加し、3 万 214 戸となり、水洗化人口は、6 万 3,367 人で前年度に比べ 258 人(0.41%)減少している。

また、総人口 7 万 6,037 人に対する供用開始区域内人口は 6 万 4,196 人で、人口普及率は 84.43%となり前年度に比べ 0.24 ポイント増加しており、供用開始区域内における水洗化人口の普及状況をみると、水洗化率は 98.71%となっている。

総処理水量は、前年度に比べ 15 万 7,134 ㎥(0.83%)減少し、1,876 万 978 ㎥となっている。これは、予算に定められた年間処理水量 1,850 万 900 ㎥の 101.41%である。

一方、損益についてみると、汚水処理水量 1 ㎥当たりでは 14.30 円の利益となり、収支差引は 3 億 4,877 万 8,668 円の純利益となっている。

業務実績を前年度と比較すると、次のとおりである。

＜業務実績の前年度比較＞

項　　目	令和３年度	令和２年度	増減	摘　　要
総　世　帯　数（世帯）	36,412	36,343	69	年度末現在
総　人　口（人）①	76,037	76,584	△547	〃
供用開始区域内人口（人）②	64,196	64,474	△278	〃
供用開始区域内戸数（戸）	30,637	30,510	127	〃
水洗化人口（人）③	63,367	63,625	△258	令和３年度予算に定めた処理人口 64,800人
水洗化戸数（戸）	30,214	30,071	143	令和３年度予算に定めた処理戸数 31,000戸
人口普及率（%）	84.43	84.19	0.24	②／① × 100
水洗化率（%）	98.71	98.68	0.03	③／② × 100
年間総処理水量（㎥）④	18,760,978	18,918,112	△157,134	令和３年度予算に定めた年間処理水量　18,500,900㎥
年間有収水量（㎥）⑤	12,375,491	12,275,196	100,295	
有収水量率（%）	65.96	64.89	1.07	⑤／④ × 100
職　員　数（人）	34	32	2	年度末現在
汚水処理原価（円）	128.59	128.15	0.44	汚水処理費／年間有収水量
使用料単価（円）	142.89	142.87	0.02	使用料収入／年間有収水量
汚水処理水量１㎥当たりの損益（円）	14.30	14.72	△0.42	使用料単価－汚水処理原価

有収水量率は65.96%で、前年度と比べ1.07ポイント上回っている。

また、汚水処理水量1㎥当たりの使用料単価は0.02円増えて142.89円、汚水処理原価は0.44円増えて128.59円となっている。その結果、汚水処理水量1㎥当たりの損益としては14.30円の利益となり、前年度に比べ0.42円下回っている。

年間総処理水量に対する効率を年度別に比較すると、次のとおりである。

＜年間総処理水量等の年度別比較＞

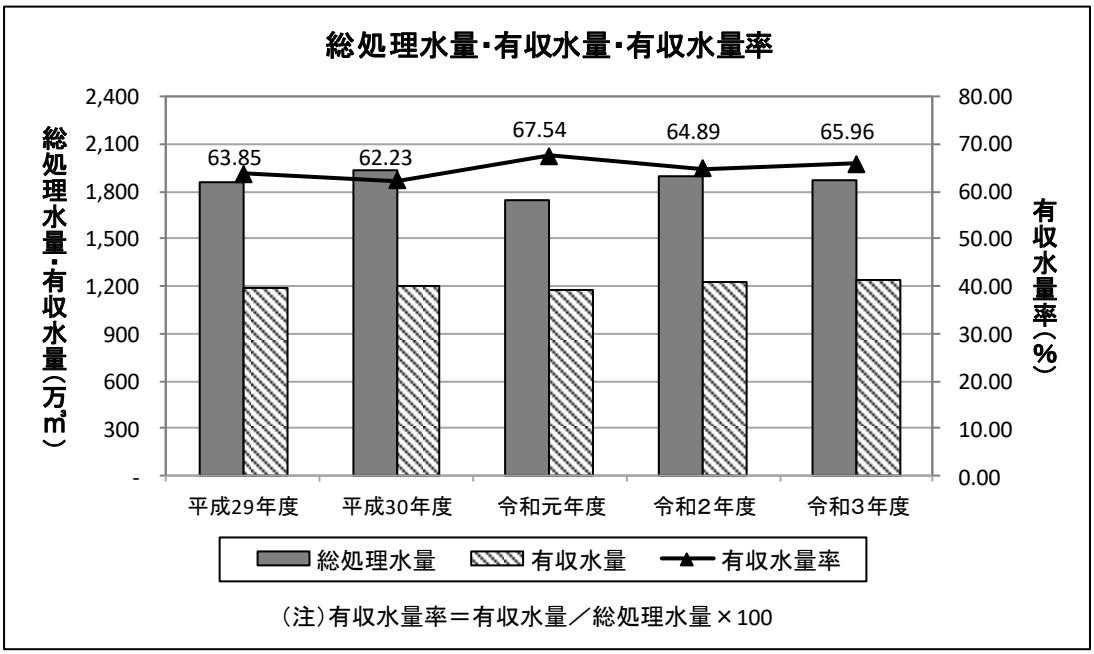
（単位：㎥・％）

区　　分	令和３年度	令和２年度	令和元年度	令和３年度対令和２年度	
				比較増減	増減率
年間総処理水量	18,760,978	18,918,112	17,459,625	△157,134	△0.83
年間有収水量	12,375,491	12,275,196	11,792,186	100,295	0.82
有収水量率	65.96	64.89	67.54	1.07	1.65

年間総処理水量は、前年度と比べ 15 万 7,134 ㎥(0.83％)減少している。

年間有収水量は 1,237 万 5,491 ㎥で、前年度より 10 万 295 ㎥(0.82％)増加し、年間総処理水量に対する割合（有収水量率）は 65.96％で、前年度より 1.07 ポイント上回っている。

最近５か年の年間総処理水量などの推移をグラフに示すと、次の図のとおりである。



年間総処理水量に対する年間有収水量の比率を示す有収水量率については、年間有収水量の増加に対し、年間総処理水量が減少したことにより、前年度と比較して上昇している。

2 予算執行状況について （消費税及び地方消費税を含む。）

（1） 収益的収支

事業収益について、予算額に対する決算額の状況は、次のとおりである。

＜収益的収入＞

（単位:円・%）

科目	予算額	構成比率		決算額（うち仮受消費税及び地方消費税）	構成比率		予算額に対する決算割合	
		３年度	２年度		３年度	２年度	３年度	２年度
事業収益	3,737,113,000	100.00	100.00	3,799,132,302	100.00	100.00	101.66	99.89
営業収益	2,416,493,000	64.66	62.05	2,448,333,858 (180,150,048)	64.44	64.46	101.32	103.77
営業外収益	1,320,620,000	35.34	37.95	1,350,798,444 (72,207)	35.56	35.54	102.29	93.55

予算額に対する決算割合は 101.66%となり、前年度に比べ 1.77 ポイント上回っている。

事業費用について、予算額に対する決算額の状況は、次のとおりである。

＜収益的支出＞

（単位:円・%）

科目	予算額	構成比率		決算額（うち仮払消費税及び地方消費税）	構成比率		予算額に対する決算割合	
		３年度	２年度		３年度	２年度	３年度	２年度
事業費用	3,493,086,000	100.00	100.00	3,372,231,269	100.00	100.00	96.54	94.53
営業費用	3,209,928,000	91.89	92.43	3,115,895,147 (102,860,411)	92.40	92.29	97.07	94.39
営業外費用	278,758,000	7.98	7.44	256,336,122	7.60	7.71	91.96	97.92
予備費	4,400,000	0.13	0.13	0	－	－	－	－

予算額に対する決算割合は 96.54%で、前年度に比べ 2.01 ポイント上回っている。

（2） 資本的収支

資本的収支の予算額に対する決算額の状況は、次のとおりである。

＜資本的収支＞

（単位：円・％）

科目		予算額（うち前年度予算繰越額）	構成比率 3年度	構成比率 2年度	決算額（うち仮受・仮払消費税及び地方消費税）	構成比率 3年度	構成比率 2年度	予算額に対する決算割合 3年度	予算額に対する決算割合 2年度
資本的収入		2,599,955,000 (1,283,468,000)	100.00	100.00	1,711,780,820	100.00	100.00	65.84	57.05
	企業債	1,505,800,000 (676,100,000)	57.92	56.43	967,400,000	56.51	54.83	64.24	55.42
	負担金	86,139,000	3.31	2.54	86,599,001	5.06	4.41	100.53	99.18
	補助金	965,968,000 (607,368,000)	37.15	39.19	644,655,850	37.66	39.30	66.74	57.20
	分担金及び負担金	2,099,000	0.08	0.09	5,259,670	0.31	0.20	250.58	128.63
	工事負担金	39,949,000	1.54	1.74	7,866,299	0.46	1.26	19.69	41.10
資本的支出		3,825,146,260 (1,345,987,260)	100.00	100.00	2,927,849,649	100.00	100.00	76.54	67.74
	建設改良費	2,641,591,260 (1,345,987,260)	69.06	75.95	1,744,297,258 (142,359,608)	59.58	64.50	66.03	57.52
	企業債償還金	1,183,555,000	30.94	24.05	1,183,552,391	40.42	35.50	100.00	100.00
収支不足額		△ 1,225,191,260	－	－	△ 1,216,068,829	－	－	99.26	95.70

補てん財源	損益勘定留保資金	851,569,260	69.51	90.88	818,287,786	67.29	89.38	96.09	94.12
	減債積立金	320,000,000	26.12	2.17	320,000,000	26.31	2.27	100.00	100.00
	消費税及び地方消費税資本的収支調整額	53,622,000	4.38	6.94	77,781,043	6.40	8.35	145.05	115.04
	計	1,225,191,260	100.00	100.00	1,216,068,829	100.00	100.00	99.26	95.70

決算額における資本的収入額は 17 億 1,178 万 820 円、資本的支出額は 29 億 2,784 万 9,649 円で、収支不足額 12 億 1,606 万 8,829 円は、補てん財源の損益勘定留保資金 8 億 1,828 万 7,786 円と減債積立金 3 億 2,000 万円、消費税及び地方消費税資本的収支調整額 7,778 万 1,043 円で補てんされている。

なお、資本的支出のうち建設改良費は、昨年度に比べ不用額は減少したものの、翌年度に予算繰越をしているため、予算額に対する決算割合が 66.03％と低くなっている。

3 経営状況（損益収支）について （消費税及び地方消費税を除く。）

（1） 収益について

総収益は、36 億 1,743 万 4,206 円で、内訳は次のとおりである。

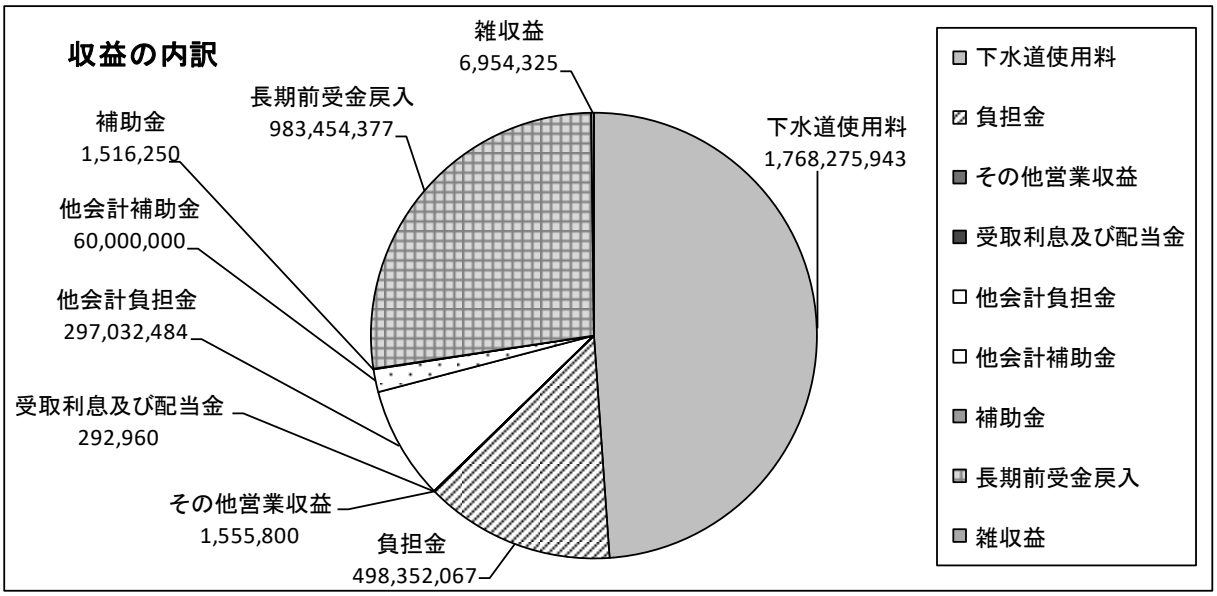
＜ 収　益 ＞

（単位：円・％）

科　目	令和３年度		令和２年度		令和元年度		令和３年度対令和２年度	
	金　額	構成比率	金　額	構成比率	金　額	構成比率	比較増減	増減率
営業収益	2,268,183,810	62.70	2,162,162,080	62.69	2,098,517,587	59.66	106,021,730	4.90
下水道使用料	1,768,275,943	48.88	1,753,746,759	50.85	1,696,851,173	48.24	14,529,184	0.83
負担金	498,352,067	13.78	406,580,600	11.79	399,961,814	11.37	91,771,467	22.57
その他営業収益	1,555,800	0.04	1,834,721	0.05	1,704,600	0.05	△278,921	△15.20
営業外収益	1,349,250,396	37.30	1,286,860,968	37.31	1,418,881,130	40.34	62,389,428	4.85
受取利息及び配当金	292,960	0.01	219,932	0.01	168,872	0.00	73,028	33.20
他会計負担金	297,032,484	8.21	280,977,299	8.15	305,236,199	8.68	16,055,185	5.71
他会計補助金	60,000,000	1.66	60,000,000	1.74	60,000,000	1.71	0	0.00
補助金	1,516,250	0.04	230,250	0.01	2,017,850	0.06	1,286,000	558.52
長期前受金戻入	983,454,377	27.19	944,306,424	27.38	986,088,628	28.03	39,147,953	4.15
雑収益	6,954,325	0.19	1,127,063	0.03	65,369,581	1.86	5,827,262	517.03
総収益	3,617,434,206	100.00	3,449,023,048	100.00	3,517,398,717	100.00	168,411,158	4.88

営業収益の 77.96％を占めている下水道使用料は、前年度と比較すると 1,452 万 9,184 円（0.83％）増加している。負担金は、市費で負担すべき費用として一般会計等より繰り入れられており、雨水処理分が 4 億 6,467 万 9,232 円、し尿投入分が 659 万 6,425 円、浄化槽汚泥処理分が 1,693 万 8,072 円、農業集落排水施設汚泥処理分が 1,013 万 8,338 円となっている。

営業外収益は、6,238 万 9,428 円（4.85％）増加している。その主な要因は、他会計補助金を除くすべての科目が前年度に比べて増加したためである。



（2）費用について

総費用は 32 億 6,865 万 5,538 円で、内訳は次のとおりである。

＜ 費　用 ＞

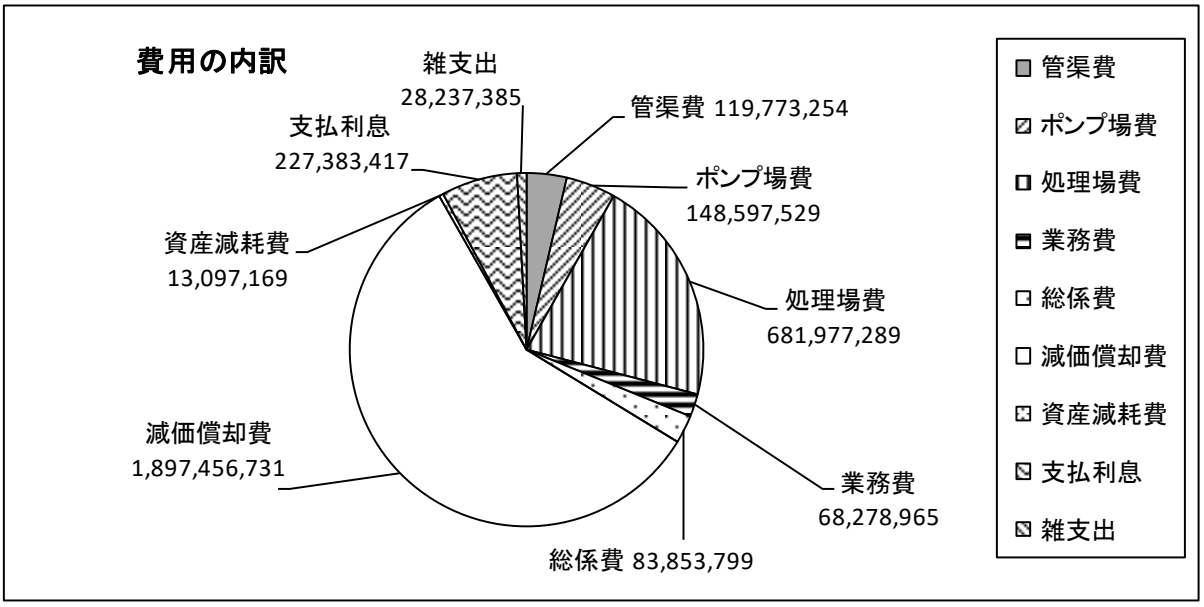
（単位：円・％）

科　目	令和３年度		令和２年度		令和元年度		令和３年度対令和２年度	
	金　額	構成比率	金　額	構成比率	金　額	構成比率	比較増減	増減率
営業費用	3,013,034,736	92.18	2,873,300,566	91.29	2,904,194,786	90.68	139,734,170	4.86
管渠費	119,773,254	3.66	131,888,934	4.19	112,006,029	3.50	△ 12,115,680	△ 9.19
ポンプ場費	148,597,529	4.55	148,205,634	4.71	131,408,074	4.10	391,895	0.26
処理場費	681,977,289	20.86	617,889,472	19.63	599,502,837	18.72	64,087,817	10.37
業務費	68,278,965	2.09	70,647,187	2.24	75,466,124	2.36	△ 2,368,222	△ 3.35
総係費	83,853,799	2.57	79,557,298	2.53	81,083,196	2.53	4,296,501	5.40
減価償却費	1,897,456,731	58.05	1,819,141,156	57.80	1,898,185,831	59.27	78,315,575	4.31
資産減耗費	13,097,169	0.40	5,823,964	0.19	6,542,695	0.20	7,273,205	124.88
その他営業費用	－	－	146,921	0.00	－	－	△ 146,921	皆減
営業外費用	255,620,802	7.82	274,142,749	8.71	298,508,484	9.32	△ 18,521,947	△ 6.76
支払利息	227,383,417	6.96	247,819,497	7.87	267,268,383	8.35	△ 20,436,080	△ 8.25
雑支出	28,237,385	0.86	26,323,252	0.84	31,240,101	0.98	1,914,133	7.27
総費用	3,268,655,538	100.00	3,147,443,315	100.00	3,202,703,270	100.00	121,212,223	3.85

営業費用は、前年度に比べ 1 億 3,973 万 4,170 円（4.86％）増加し、30 億 1,303 万 4,736 円となっている。増加の要因としては、管渠費や業務費などが減少したものの、減価償却費や処理場費などの増加が大きかったことによるものである。主な営業費用は、減価償却費の 18 億 9,745 万 6,731 円、処理場費の 6 億 8,197 万 7,289 円で、営業費用全体の 85.61％を占めている。

営業外費用は、対前年度比較で 1,852 万 1,947 円（6.76％）減少し、2 億 5,562 万 802 円となっている。これは主に、支払利息が 2,043 万 6,080 円（8.25％）減少したことによるものである。

総費用全体では、営業費用の増加により 1 億 2,121 万 2,223 円（3.85％）の増加となっている。



費用を性質別に分類して、前年度と比較すると、次のとおりである。

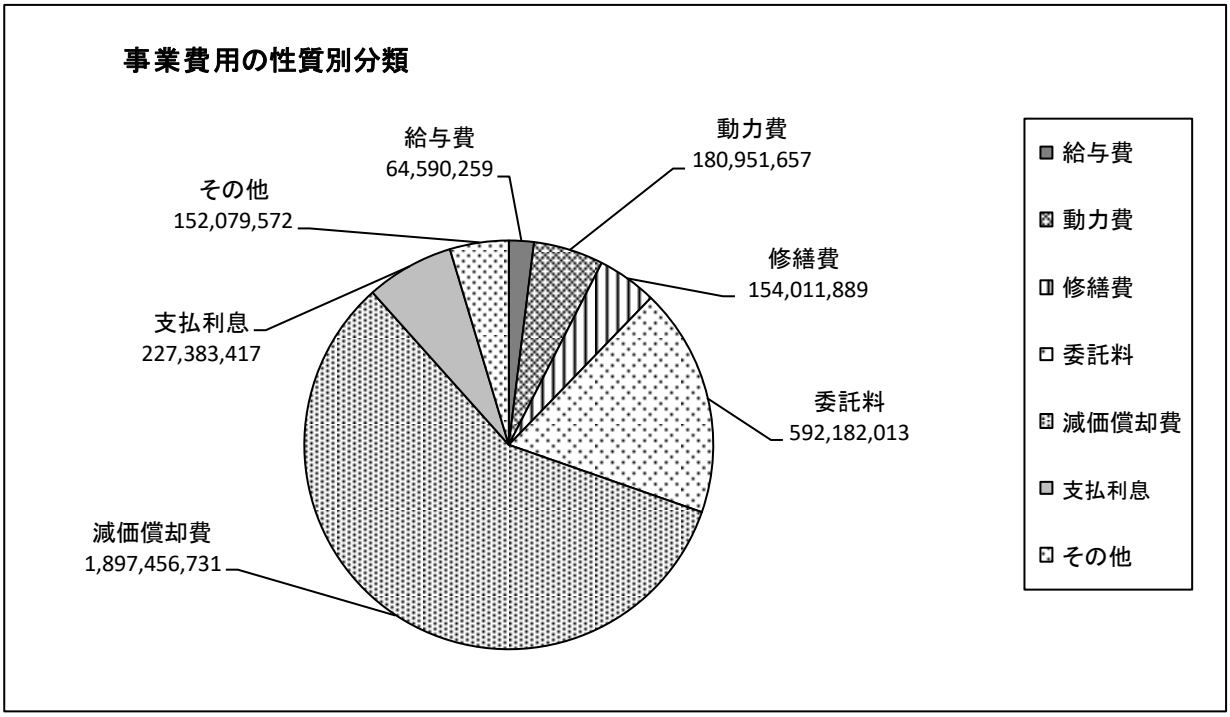
＜性質別に分類した事業費用の年度別比較＞

（単位：円・％）

性質別分類	令和3年度		令和2年度		令和元年度		令和3年度対令和2年度	
	金　額	構成比率	金　額	構成比率	金　額	構成比率	比較増減	増減率
給　与　費	64,590,259	1.98	66,640,224	2.12	64,193,562	2.00	△ 2,049,965	△ 3.08
動　力　費	180,951,657	5.54	169,479,620	5.38	180,949,800	5.65	11,472,037	6.77
修　繕　費	154,011,889	4.71	147,090,719	4.67	125,987,724	3.93	6,921,170	4.71
委　託　料	592,182,013	18.12	515,336,934	16.37	509,900,588	15.92	76,845,079	14.91
減価償却費	1,897,456,731	58.05	1,819,141,156	57.80	1,898,185,831	59.27	78,315,575	4.31
支　払　利　息	227,383,417	6.96	247,819,497	7.87	267,268,383	8.35	△ 20,436,080	△ 8.25
(うち企業債利息)	(227,255,891)	6.95	(247,297,307)	(7.86)	(266,426,411)	(8.32)	(△20,041,416)	(△8.10)
そ　の　他	152,079,572	4.65	181,935,165	5.78	156,217,382	4.88	△ 29,855,593	△ 16.41
合　　計	3,268,655,538	100.00	3,147,443,315	100.00	3,202,703,270	100.00	121,212,223	3.85

(注)給与費は、給料、手当等、賃金、報酬、法定福利費、賞与引当金繰入額である。

前年度に比べ増加したものは、減価償却費、委託料、動力費及び修繕費である。減少したものは、その他、支払利息(企業債利息)及び給与費である。



4 財政状況（貸借対照表）について

（1） 資 産

固定資産・流動資産を前年度と比較すると、次のとおりである。

＜資産の前年度比較＞

（単位：円）

区　　分	令和３年度	令和２年度	増　　減
固　定　資　産	45,425,105,361	45,719,863,611	△294,758,250
有形固定資産	45,423,151,413	45,717,898,881	△294,747,468
無形固定資産	291,408	312,000	△20,592
投資その他の資産	1,662,540	1,652,730	9,810
流　動　資　産	1,146,554,794	1,156,888,033	△10,333,239
現　金　預　金	967,241,408	931,546,466	35,694,942
未　収　金	169,919,789	216,913,004	△46,993,215
貸倒引当金	△2,097,485	△3,192,556	1,095,071
貯　蔵　品	10,160,422	10,518,269	△357,847
前　払　費　用	10,780	－	10,780
前　払　金	1,000,000	1,000,000	0
その他流動資産	319,880	102,850	217,030
資　産　合　計	46,571,660,155	46,876,751,644	△305,091,489

資産は、前年度に比べ 3 億 509 万 1,489 円減少している。

固定資産は、前年度に比べ 2 億 9,475 万 8,250 円（0.64％）減少している。その主な要因は、段畑雨水ポンプ場の減価償却費の増加により、有形固定資産が 2 億 9,474 万 7,468 円減少したものである。また、流動資産は、前年度に比べ 1,033 万 3,239 円（0.89％）減少しており、その主な要因は、現金預金は増えたものの未収金の減少が大きかったことによるものである。

貯蔵品のたな卸については、現品過不足なく正確に処理されている。

有形固定資産の増減状況は、次のとおりである。

＜有形固定資産の増減状況＞

（単位:円）

項　目	増加したもの		減少したもの		増　減
	金　額	説　明	金　額	説　明	
土　　地	1,015,464	施設用地 1,015,464	－	－	1,015,464
建　　物	379,454	建物付属設備 379,454	－	－	379,454
構　築　物	1,176,279,857	排水施設 848,145,941 ポンプ場施設 328,133,916	967,181	排水施設 967,181	1,175,312,676
機械及び装置	284,668,429	電気設備 55,246,846 ポンプ設備 16,221,209 その他機械装置 213,200,374	141,243,885	電気設備 49,788,607 内燃設備 358,983 ポンプ設備 18,073 滅菌設備 133,263 その他機械装置 90,944,959	143,424,544
車輌及び運搬具	1,984,019	車輌運搬具 1,984,019	53,485	車輌運搬具 53,485	1,930,534
工具、器具及び備品	12,214,000	工具、器具及び備品 12,214,000	41,262	工具、器具及び備品 41,262	12,172,738
建設仮勘定	1,694,519,244	未供用資産 1,694,519,244	1,555,274,627	供用開始による振替 1,555,274,627	139,244,617
計	3,171,060,467	－	1,697,580,440	－	1,473,480,027

有形固定資産の差引増加額は、14 億 7,348 万 27 円である。

年度末における有形固定資産の現在高は 650 億 4,868 万 4,790 円で減価償却累計額 196 億 2,553 万 3,377 円を控除すると当年度末の償却未済額は 454 億 2,315 万 1,413 円である。

消滅時効により不納欠損処分されたものは、次のとおりである。

＜不納欠損処分の内訳＞

債　権　名	人数(人)	件数(件)	金額(円)	理由別内訳
下水道使用料	173	536	1,095,071	破 産 等　1人　4件　9,059円 無 財 産　172人　532件　1,086,012円
計	173	536	1,095,071	

当年度の時効による不納欠損は、前年度に比べ 40 人、130 件、金額は 24 万 2,187 円減少している。

(2) 負 債

固定負債を前年度と比較すると、次のとおりである。

＜固定負債の前年度比較＞

(単位:円)

科　　目	令和３年度	令和２年度	増　　減
企　　業　　債	16,285,976,340	16,559,223,234	△273,246,894
計	16,285,976,340	16,559,223,234	△273,246,894

固定負債は企業債のみであり、前年度に比べ 2 億 7,324 万 6,894 円(1.65%)減少し、162 億 8,597 万 6,340 円となっている。

これは、新規の企業債借入れが 9 億 6,740 万円に対して翌年度の償還額 12 億 4,064 万 6,894 円が流動負債に振り替えられたことによるものである。

流動負債を前年度と比較すると、次のとおりで不良債務はない。

＜流動負債の前年度比較＞

（単位：円）

科　　目	令和３年度	令和２年度	増　　減
企　　業　　債	1,240,646,894	1,183,552,391	57,094,503
未　　払　　金	727,451,094	874,260,570	△146,809,476
預　　り　　金	1,996,747	952,753	1,043,994
引　　当　　金	16,449,487	18,824,679	△2,375,192
その他流動負債	319,880	102,850	217,030
計	1,986,864,102	2,077,693,243	△90,829,141

流動負債は、前年度に比べ 9,082 万 9,141 円（4.37％）減少し、19 億 8,686 万 4,102 円となっている。これは主に、布設工事や更新工事の完成に伴い、未払金が 1 億 4,680 万 9,476 円（16.79％）減少したことによるものである。

＜繰延収益の前年度比較＞

（単位：円）

科　　目	令和３年度	令和２年度	増　　減
長期前受金	32,225,657,479	31,601,004,015	624,653,464
長期前受金収益化累計額	△9,989,390,928	△9,074,743,679	△914,647,249
計	22,236,266,551	22,526,260,336	△289,993,785

繰延収益は、前年度に比べ 2 億 8,999 万 3,785 円（1.29％）減少し、222 億 3,626 万 6,551 円となっている。長期前受金は前年度に比べ 6 億 2,465 万 3,464 円（1.98％）増加しており、その主な要因は　国府補助金長期前受金が増加したことによるものである。長期前受金収益化累計額は除却資産の増加に伴い、前年度に比べ 9 億 1,464 万 7,249 円（10.08％）減少している。

（3） 資本金

資本金を前年度と比較すると、次のとおりである。

＜資本金の前年度比較＞

（単位:円）

科　　目	令和３年度	令和２年度	増　　減
資　本　金	4,934,974,009	4,904,974,009	30,000,000
自己資本金	4,934,974,009	4,904,974,009	30,000,000
固有資本金	4,904,974,009	4,904,974,009	0
組入資本金	30,000,000	－	30,000,000

資本金は、組入資本金が 3,000 万円増加したことにより、49 億 3,497 万 4,009 円となった。

（4） 剰余金

剰余金の内訳は、次のとおりである。

＜剰余金の前年度比較＞

（単位:円）

科　　目	令和３年度	令和２年度	増　　減
剰　余　金	1,127,579,153	808,600,822	318,978,331
資本剰余金	72,162,702	71,963,039	199,663
受贈財産評価額	3,199,740	3,199,740	0
国府補助金	68,266,388	68,266,388	0
その他資本剰余金	696,574	496,911	199,663
利益剰余金	1,055,416,451	736,637,783	318,778,668
減債積立金	386,637,783	320,000,000	66,637,783
当年度未処分利益剰余金	668,778,668	416,637,783	252,140,885

剰余金は、11 億 2,757 万 9,153 円となっており、資本剰余金は 19 万 9,663 円、利益剰余金は 3 億 1,877 万 8,668 円増加している。

5 キャッシュ・フローについて

＜キャッシュ・フローの状況＞

（単位：円）

区　　分	金　　額
A　資金期首残高	931,546,466
①　業務活動によるキャッシュ・フロー	1,264,131,941
②　投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,092,747,789
③　財務活動によるキャッシュ・フロー	△135,689,210
B　資金増減額　（①＋②＋③）	35,694,942
C　資金期末残高　（A＋B）	967,241,408

キャッシュ・フロー計算書の資金期末残高は、貸借対照表における流動資産の現金預金の額と一致している。

6 む す び

令和 3 年度の下水道事業会計は、総収益が 36 億 1,743 万 4,206 円、総費用は 32 億 6,865 万 5,538 円で、平成 28 年度以降 6 年連続の黒字決算となり、3 億 4,877 万 8,668 円の当年度純利益を計上した。

業務実績をみると、供用開始区域内人口は 6 万 4,196 人となり、前年度に比べ 278 人(0.43%)減少している。同区域内の水洗化人口は、258 人(0.41%)減の 6 万 3,367 人となり、水洗化率は前年度比 0.03 ポイント増の 98.71%となっている。年間総処理水量は 1,876 万 978 ㎥で、前年度に比べ 15 万 7,134 ㎥(0.83%)減少し、年間有収水量は 1,237 万 5,491 ㎥で前年度と比較し 10 万 295 ㎥(0.82%)増加している。

施設整備関係においては、農業集落排水施設の公共下水道への統合に向けた西部系統下豊富西部管路布設工事のほか、終末処理場汚泥処理施設し渣沈砂貯留ホッパほか更新工事、和久市ポンプ場放流渠構成工事及び福知山処理区マンホール鉄蓋更新工事などの老朽化した設備更新を行っている。

経営状況については、前年度と比較し、総収益は 1 億 6,841 万 1,158 円(4.88%)増加し、総費用も 1 億 2,121 万 2,223 円(3.85%)増加している。収益増の主な要因は、営業収益では下水道使用料の増に加え、昨年度の段畑雨水ポンプ場完成に関わり、雨水処理負担金が前年度比 24.20%増の 4 億 6,467 万 9,232 円となり、営業外収益では長期前受金戻入及び他会計負担金などが増加したことによるものである。

一方、費用増の主な要因は、減価償却費や処理場費などが増加したことによるものである。

汚水処理水量 1 ㎥当たりの収支でみると、使用料単価は 142.89 円で前年度に比較し 0.02 円増加し、汚水処理原価は 128.59 円で前年度に比べ 0.44 円増加している。1 ㎥当りの利益は昨年度より 0.42 円減少したものの、4年連続で使用料単価が汚水処理原価を上回り、1 ㎥当り 14.30 円の利益を生んでいる。

消滅時効に伴う不納欠損処分は、173 人、536 件、109 万 5,071 円で、前年度に比べ 40 人、130 件、金額では 24 万 2,187 円の減少となっている。不納欠損の理由は、無財産や破産等によるものであり法令に基づいた不納欠損処分が行われているが、今後とも負担の公平性を確保するため、債権管理の適正を期するとともに、新たな滞納者を発生させない早期徴収体制の強化を講じるなど、収入の確保に努めることが必要である。

次に経営分析から見た経営の状況は以下のとおりである。

① 流動比率については、一年間の支払い能力を示し安全性を判断する指標であり、100%以上であることが必要であるとされている。本年度は、前年度に比べ 2.03 ポイント改善し 57.71%となっている。

② 固定資産回転率については、固定資産がどの程度経営活動に有効活用されたかを判断する指標として高いほど良いとされており、0.050 回で前年度に比べ 0.003 回向上している。

③ 固定長期適合率は、固定資産が資本の範囲内で調達されているかを示すもので、100％以下が健全とされているが、101.88％と前年度に比べ 0.18 ポイント改善している。

④ 経費回収率は、汚水処理に係る費用が使用料でどの程度賄われているかを示すものであり、100％以上が求められている。下水道経営は、経費の負担区分を踏まえ汚水処理に係る費用については使用料で賄うことが基本原則であり、0.36 ポイント低下し 111.12％となっている。

（参考資料）

① 流動比率 ＝ 流動資産 ／ 流動負債 × 100

令和３年度	令和２年度
57.71%	55.68%

② 固定資産回転率 ＝ 営業収益－受託工事収益 ／ （期末固定資産＋期首固定資産）÷２

令和３年度	令和２年度
0.050回	0.047回

③ 固定長期適合率 ＝ 固定資産 ／ 自己資本＋固定負債＋繰延収益 × 100
（自己資本＝自己資本金＋剰余金）

令和３年度	令和２年度
101.88%	102.06%

④ 経費回収率（維持管理費） ＝ 使用料収入 ／ 汚水処理費 × 100

令和３年度	令和２年度
111.12%	111.48%

下水道事業は、平成 27 年度より国・京都府・福知山市が連携して実施してきた総合的な治水対策事業については、昨年度に土師排水区の段畑雨水ポンプ場建設工事や法川排水区の雨水排水路新設工事などが完成したことから、市街地における総合的な浸水対策事業について概ね完了している。

本年度からは老朽化した施設の更新や下水道管路の耐震化及び被災時における機能維持対策を推進するため地震対策事業を行っている。

しかしながら、本市においても人口減少社会により、水洗化人口は減少傾向が進行する中にあっては、下水道使用料の増収を見込むことは難しく、厳しい経営環境は今後も続くことが想定される。

さらには耐用年数を経過し老朽化した主要設備や管渠の更新、地震や集中豪雨など災害に対する対策など今後施設維持管理に対して多額の投資も必要となっている。

このような現状をふまえ、「雨水公費」「汚水私費」の原則に基づき、安定的な経営を継続させるため、平成 29 年 7 月使用分から下水道使用料の改定が行なわれ、平成 30 年度より汚水処理費用が使用料収入で賄われている状況となったが、今後も老朽化した施設更新や災害に強い、強靭な施設

整備などの資産維持費を見込みながら、持続可能な企業経営に向けて、さらなる経営の効率化・合理化を推し進め、自立・安定したより強固な経営基盤が図られるように努められたい。

下水道事業は、事業開始から 50 年以上が経過し、この間本市の都市機能の発展や市民の健康で快適な生活環境の確保、公衆衛生の向上、さらには災害時の市民の安心・安全な暮らしに寄与してきた。

今後も将来の経営見通しを立て、徹底的な経営努力に励むとともに、ストックマネジメントの推進、汚水処理の最適化及び広域化・共同化の推進、PPP/PFI 等の促進、資源・施設の有効利用や新技術導入の推進等に取り組みながら、日常生活に不可欠な基幹的インフラとして、持続的な下水道事業サービスの提供を望むものである。

1　損益計算書構成並びにすう勢比率表

（注）すう勢比率は、令和元年度を100%とする。

借方						貸方					
科目	金額	構成比率		すう勢比率		科目	金額	構成比率		すう勢比率	
		令和3年度	令和2年度	令和3年度	令和2年度			令和3年度	令和2年度	令和3年度	令和2年度
	円	%	%	%	%		円	%	%	%	%
1　営業費用	3,013,034,736	92.18	91.29	103.75	98.94	1　営業収益	2,268,183,810	62.70	62.69	108.09	103.03
(1) 管渠費	119,773,254	3.66	4.19	106.93	117.75	(1) 下水道使用料	1,768,275,943	48.88	50.85	104.21	103.35
(2) ポンプ場費	148,597,529	4.55	4.71	113.08	112.78	(2) 負担金	498,352,067	13.78	11.79	124.60	101.65
(3) 処理場費	681,977,289	20.86	19.63	113.76	103.07	(3) その他営業収益	1,555,800	0.04	0.05	91.27	107.63
(4) 業務費	68,278,965	2.09	2.24	90.48	93.61	2　営業外収益	1,349,250,396	37.30	37.31	95.09	90.70
(5) 総係費	83,853,799	2.57	2.53	103.42	98.12	(1) 受取利息及び配当金	292,960	0.01	0.01	173.48	130.24
(6) 減価償却費	1,897,456,731	58.05	57.80	99.96	95.84	(2) 他会計負担金	297,032,484	8.21	8.15	97.31	92.05
(7) 資産減耗費	13,097,169	0.40	0.19	200.18	89.01	(3) 他会計補助金	60,000,000	1.66	1.74	100.00	100.00
その他営業費用	－	－	0.00	－	－	(4) 補助金	1,516,250	0.04	0.01	75.14	11.41
2　営業外費用	255,620,802	7.82	8.71	85.63	91.84	(5) 長期前受金戻入	983,454,377	27.19	27.38	99.73	95.76
(1) 支払利息	227,383,417	6.96	7.87	85.08	92.72	(6) 雑収益	6,954,325	0.19	0.03	10.64	1.72
(2) 雑支出	28,237,385	0.86	0.84	90.39	84.26						
小計	3,268,655,538	100.00	100.00	102.06	98.27						
当年度純利益	348,778,668	－	－	110.83	95.83						
合計	3,617,434,206	－	－	102.84	98.06	合計	3,617,434,206	100.00	100.00	102.84	98.06

2　貸借対照表構成並びにすう勢比率表

（注）すう勢比率は、令和元年度を100%とする。

借方						貸方					
科目	金額	構成比率		すう勢比率		科目	金額	構成比率		すう勢比率	
		令和3年度	令和2年度	令和3年度	令和2年度			令和3年度	令和2年度	令和3年度	令和2年度
	円	%	%	%	%		円	%	%	%	%
1　固定資産	45,425,105,361	97.54	97.53	99.83	100.48	1　固定負債	16,285,976,340	34.97	35.33	98.02	99.67
(1) 有形固定資産	45,423,151,413	97.53	97.53	99.83	100.48	(1) 企業債	16,285,976,340	34.97	35.33	98.02	99.67
(2) 無形固定資産	291,408	0.00	0.00	－	－	2　流動負債	1,986,864,102	4.27	4.43	68.72	71.86
(3) 投資その他の資産	1,662,540	0.00	0.00	100.59	100.00	(1) 企業債	1,240,646,894	2.66	2.52	103.43	98.67
2　流動資産	1,146,554,794	2.46	2.47	57.84	58.36	(2) 未払金	727,451,094	1.56	1.87	43.51	52.29
(1) 現金預金	967,241,408	2.08	1.99	54.15	52.15	(3) 預り金	1,996,747	0.00	0.00	209.06	99.76
(2) 未収金	169,919,789	0.36	0.46	87.47	111.66	(4) 引当金	16,449,487	0.04	0.04	88.37	101.14
貸倒引当金	△ 2,097,485	0.00	△0.01	61.15	93.07	(5) その他流動負債	319,880	0.00	0.00	－	－
(3) 貯蔵品	10,160,422	0.02	0.02	247.65	256.37	3　繰延収益	22,236,266,551	47.75	48.05	98.22	99.51
(4) 前払費用	10,780	0.00	－	－	－	(1) 長期前受金	32,225,657,479	69.20	67.41	104.64	102.61
(5) 前払金	1,000,000	0.00	0.00	100.00	100.00	(2) 長期前受金収益化累計額	△9,989,390,928	△21.45	△19.36	－	－
(6) その他流動資産	319,880	0.00	0.00	－	－	4　資本金	4,934,974,009	10.60	10.46	100.61	100.00
						(1) 自己資本金	4,934,974,009	10.60	10.46	100.61	100.00
						5　剰余金	1,127,579,153	2.42	1.72	259.00	185.73
						(1) 資本剰余金	72,162,702	0.15	0.15	24,159.33	24,092.48
						(2) 利益剰余金	1,055,416,451	2.27	1.57	242.59	169.32
資産合計	46,571,660,155	100.00	100.00	98.08	98.72	負債資本合計	46,571,660,155	100.00	100.00	98.08	98.72

3　企業債の償還予定表

区分 年度	元金	利子	計
	円	円	円
令和4年度	1,240,646,894	208,781,544	1,449,428,438
令和5年度	1,290,269,251	184,716,782	1,474,986,033
令和6年度	1,293,638,120	162,511,399	1,456,149,519
令和7年度	1,256,789,654	142,124,105	1,398,913,759
令和8年度	1,130,365,164	124,098,486	1,254,463,650
令和9年度	1,048,879,731	108,321,914	1,157,201,645
令和10年度	954,625,016	94,450,074	1,049,075,090
令和11年度	855,593,080	82,416,015	938,009,095
令和12年度	734,826,168	72,048,190	806,874,358
令和13年度	675,427,285	63,514,144	738,941,429
令和14年度～令和33年度	7,045,562,871	354,507,697	7,400,070,568
合計	17,526,623,234	1,597,490,350	19,124,113,584

福 知 山 市 病 院 事 業 会 計

病　院　事　業

1　業務実績

令和3年度の市立福知山市民病院の年間延入院患者数は、11 万 2,834 人で前年度に比べ 258 人（0.23％）増加し、予算に定められた業務の予定量（以下「予定量」という。）における年間延入院患者数 11 万 2,420 人を 414 人上回っている。また、1日の平均入院患者数については、309.13 人で前年度に比べ 0.70 人増加し、予定量 308.0 人に対しても 1.13 人上回っている。大江分院の年間延入院患者数は、1 万 9,793 人で前年度に比べ 1,106 人（5.29％）減少し、予定量 2 万 1,170 人に対しても 1,377 人下回っている。また、1日の平均入院患者数については、54.23 人で前年度に比べ 3.03 人減少し、予定量 58.0 人に対しても 3.77 人下回っている。

市民病院の年間延外来患者数は、23 万 6,390 人で前年度に比べ 10,720 人（4.75％）増加し、予定量 22 万 9,900 人に対しても 6,490 人上回っている。また、1日の平均外来患者数は、976.82 人で前年度に比べ 48.14 人増加し、予定量 950.0 人に対しても 26.82 人上回っている。大江分院の年間延外来患者数は、1 万 4,293 人で前年度に比べ 1,110 人（7.21％）減少し、予定量 1 万 4,762 人に対しては 469 人下回り、1日平均外来患者数は、59.06 人で予定量 61.0 人に対し 1.94 人下回っている。

患者1人1日当たりの診療収益は、入院で市民病院が 6 万 9,142.53 円、大江分院が 2 万 1,358.67 円、外来で市民病院が 2 万 740.27 円、大江分院が 8,713.25 円、入院と外来を合わせた全体では、市民病院が 3 万 6,917.09 円、大江分院が 1 万 6,066.96 円となっている。また、患者1人1日当たりの医業収益は、市民病院が 3 万 7,980.70 円、大江分院が 1 万 6,698.91 円であり、その一方で1人1日当たりの医業費用は、市民病院が 3 万 8,640.36 円、大江分院が 1 万 9,864.33 円となっており、その損益は、市民病院が 659.66 円の損失、大江分院が 3,165.42 円の損失となっている。

令和3年度の業務実績を前年度と比較すると次のとおりである。

〈業務実績の前年度比較〉

項目				令和3年度	令和2年度	増減	摘要
総世帯数（世帯）				36,412	36,343	69	年度末現在
総人口（人）				76,037	76,584	△547	〃
病床数（床）			市民病院	354	354	0	一般344　結核6　感染症4
			大江分院	68	68	0	一般40　療養28
年間延病床数（床）			市民病院	129,210	129,210	0	354床×365日
			大江分院	24,820	24,820	0	68床×365日
患者数	入院	年間（人）	市民病院	112,834	112,576	258	令和3年度予算に定めた業務予定量 112,420人
			大江分院	19,793	20,899	△1,106	〃 21,170人
		1日平均（人）	市民病院	309.13	308.43	0.70	〃 308.0人
			大江分院	54.23	57.26	△3.03	〃 58.0人
	外来	年間（うち人間ドック等）（人）	市民病院	236,390 (11,616)	225,670 (11,130)	10,720 (486)	〃 229,900人 診療日数 242日
			大江分院	14,293 (50)	15,403 (49)	△1,110 (1)	〃 14,762人 診療日数 242日
		1日平均（人）	市民病院	976.82	928.68	48.14	〃 950.0人
			大江分院	59.06	63.39	△4.33	〃 61.0人
	計	年計（人）	市民病院	349,224	338,246	10,978	
			大江分院	34,086	36,302	△2,216	
病床利用率（%）			市民病院	87.33	87.13	0.20	年間延入院患者数／年間延病床数×100
			大江分院	79.75	84.20	△4.45	
職員数（人）			市民病院	787	779	8	年度末現在
			大江分院	70	74	△4	
患者1人1日当たり診療収益	入院（円）		市民病院	69,142.53	66,919.90	2,222.63	入院収益／年間延入院患者数
			大江分院	21,358.67	21,635.31	△276.64	
	外来（円）		市民病院	20,740.27	19,915.55	824.72	外来収益／年間延外来患者数（注）
			大江分院	8,713.25	8,970.55	△257.30	
	入院・外来（円）		市民病院	36,917.09	36,091.96	825.13	入院外来収益／年間延入院外来患者数（注）
			大江分院	16,066.96	16,271.49	△204.53	
患者1人1日当たり医業収益（円）			市民病院	37,980.70	37,054.62	926.08	医業収益／年間延入院外来患者数
			大江分院	16,698.91	16,722.95	△24.04	
患者1人1日当たり医業費用（円）			市民病院	38,640.36	38,083.04	557.32	医業費用／年間延入院外来患者数
			大江分院	19,864.33	19,083.51	780.82	

（注）患者１人１日当たり診療収益における年間延外来患者数は人間ドック等検診者を除く。

（1）患者数の状況

① 入院患者数の状況

〈診療科別入院患者数の年度別比較〉

〔市民病院〕 （単位：人・%）

診療科	令和3年度（診療日数365日）			令和2年度（診療日数365日）			令和元年度（診療日数366日）		
	延患者数	1日平均患者数	構成比率	延患者数	1日平均患者数	構成比率	延患者数	1日平均患者数	構成比率
内科	7,398	20.27	6.56	7,538	20.65	6.70	9,181	25.08	7.96
呼吸器内科	5,010	13.73	4.44	3,404	9.33	3.02	3,499	9.56	3.03
消化器内科	10,164	27.85	9.01	10,491	28.74	9.32	9,960	27.21	8.64
循環器内科	7,803	21.38	6.92	7,724	21.16	6.86	6,914	18.89	6.00
血液内科	11,987	32.84	10.62	11,676	31.99	10.37	10,502	28.69	9.11
腫瘍内科	9,113	24.97	8.08	10,957	30.02	9.73	12,663	34.60	10.98
腎臓内科	1,090	2.99	0.97	1,531	4.19	1.36	1,279	3.49	1.11
糖尿病内科	1,088	2.98	0.96	559	1.53	0.50	1,002	2.74	0.87
小児科	2,690	7.37	2.38	2,626	7.19	2.33	2,504	6.84	2.17
外科	6,467	17.72	5.73	6,915	18.95	6.14	7,011	19.16	6.08
整形外科	13,831	37.89	12.26	14,493	39.71	12.87	15,582	42.57	13.51
形成外科	389	1.07	0.34	784	2.15	0.70	866	2.37	0.75
脳神経外科	6,490	17.78	5.75	6,642	18.20	5.90	5,741	15.69	4.98
小児外科	94	0.26	0.08	94	0.26	0.08	76	0.21	0.07
皮膚科	1,823	4.99	1.62	1,185	3.25	1.05	1,041	2.84	0.90
泌尿器科	3,283	8.99	2.91	2,946	8.07	2.62	2,955	8.07	2.56
産婦人科	4,756	13.03	4.22	3,938	10.79	3.50	4,588	12.54	3.98
眼科	756	2.07	0.67	734	2.01	0.65	1,049	2.87	0.91
耳鼻いんこう科	1,909	5.23	1.69	2,558	7.01	2.27	1,982	5.42	1.72
放射線科	41	0.11	0.04	32	0.09	0.03	47	0.13	0.04
リハビリテーション科	15,810	43.32	14.01	15,302	41.92	13.59	15,869	43.36	13.76
救急科	842	2.31	0.75	447	1.22	0.40	1,011	2.76	0.88
計	112,834	309.13	100.00	112,576	308.43	100.00	115,322	315.09	100.00

〔大江分院〕 （単位：人・%）

診療科	令和3年度（診療日数365日）			令和2年度（診療日数365日）			令和元年度（診療日数366日）		
	延患者数	1日平均患者数	構成比率	延患者数	1日平均患者数	構成比率	延患者数	1日平均患者数	構成比率
内科	19,793	54.23	100.00	20,899	57.26	100.00	22,407	61.22	100.00
小児科	－	－	－	－	－	－	－	－	－
リハビリテーション科	－	－	－	－	－	－	－	－	－
計	19,793	54.23	100.00	20,899	57.26	100.00	22,407	61.22	100.00

② 外来患者数の状況

〈診療科別外来患者数の年度別比較〉

〔市民病院〕 （単位：人・%）

診療科	令和3年度（診療日数242日）			令和2年度（診療日数243日）			令和元年度（診療日数240日）		
	延患者数	1日平均患者数	構成比率	延患者数	1日平均患者数	構成比率	延患者数	1日平均患者数	構成比率
内科	80,928	334.41	34.23	75,456	310.52	33.44	77,960	324.83	33.16
精神神経科	8,279	34.21	3.50	7,426	30.56	3.29	7,133	29.72	3.03
脳神経内科	4,237	17.51	1.79	3,973	16.35	1.76	4,142	17.26	1.76
小児科	13,864	57.29	5.86	12,199	50.20	5.41	15,678	65.33	6.67
外科	13,314	55.02	5.63	13,602	55.98	6.03	14,189	59.12	6.04
整形外科	25,442	105.13	10.76	26,869	110.57	11.91	29,613	123.39	12.60
形成外科	1,908	7.88	0.81	2,125	8.74	0.94	1,963	8.18	0.83
脳神経外科	5,085	21.01	2.15	5,179	21.31	2.29	4,887	20.36	2.08
心臓血管外科	282	1.17	0.12	335	1.38	0.15	352	1.47	0.15
小児外科	1,140	4.71	0.48	932	3.84	0.41	840	3.50	0.36
皮膚科	10,158	41.98	4.30	9,748	40.12	4.32	9,004	37.52	3.83
泌尿器科	27,529	113.76	11.65	26,017	107.07	11.53	25,113	104.64	10.68
産婦人科	13,189	54.50	5.58	11,613	47.79	5.15	11,881	49.50	5.05
眼科	14,704	60.76	6.22	13,831	56.92	6.13	15,380	64.08	6.54
耳鼻いんこう科	10,892	45.01	4.61	10,484	43.14	4.65	11,096	46.23	4.72
放射線科	5,439	22.48	2.30	5,881	24.20	2.61	5,879	24.50	2.50
計	236,390	976.82	100.00	225,670	928.68	100.00	235,110	979.63	100.00

〔大江分院〕

診療科	令和3年度（診療日数242日）			令和2年度（診療日数243日）			令和元年度（診療日数240日）		
	延患者数	1日平均患者数	構成比率	延患者数	1日平均患者数	構成比率	延患者数	1日平均患者数	構成比率
内科	13,386	55.31	93.65	14,342	59.02	93.11	14,176	59.07	91.42
小児科	54	0.22	0.38	82	0.34	0.53	221	0.92	1.43
ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ科	853	3.52	5.97	979	4.03	6.36	1,110	4.63	7.16
計	14,293	59.06	100.00	15,403	63.39	100.00	15,507	64.61	100.00

市民病院の延入院患者数で増加した主な診療科は、呼吸器内科、産婦人科、皮膚科、糖尿病内科で、減少した主な診療科は、腫瘍内科、整形外科、耳鼻いんこう科、外科である。延外来患者数で増加した主な診療科は、内科、小児科、産婦人科、泌尿器科で、減少した主な診療科は、整形外科、放射線科、外科、形成外科である。

大江分院については、内科は延入院患者数、延外来患者数のいずれも減少し、小児科とリハビリテーション科の延外来患者数も減少している。

2 予算執行状況について（消費税及び地方消費税を含む。）

（1） 収益的収支

事業収益について、予算額に対する決算額の状況は、次のとおりである。

〈収益的収入〉

（単位：円・％）

科目	予算額	構成比率 3年度	構成比率 2年度	決算額（うち仮受消費税及び地方消費税）	構成比率 3年度	構成比率 2年度	予算額に対する決算割合 3年度	予算額に対する決算割合 2年度
事業収益	15,291,576,000	100.00	100.00	15,666,566,956	100.00	100.00	102.45	101.32
市民病院事業収益	14,530,093,000	95.02	94.64	14,912,881,436	95.19	94.70	102.63	101.39
医業収益	13,070,565,000	85.48	83.39	13,313,910,938 (50,138,960)	84.98	82.69	101.86	100.47
医業外収益	1,345,788,000	8.80	8.96	1,483,994,904 (3,364,453)	9.47	9.83	110.27	111.25
看護学校収益	78,891,000	0.52	0.53	80,126,354 (70,931)	0.51	0.50	101.57	95.86
特別利益	34,849,000	0.23	1.77	34,849,240	0.22	1.69	100.00	96.44
大江分院事業収益	761,483,000	4.98	5.36	753,685,520	4.81	5.30	98.98	100.12
医業収益	589,533,000	3.86	4.04	570,681,808 (1,482,870)	3.64	4.00	96.80	100.32
医業外収益	129,683,000	0.85	1.07	144,982,432 (429,820)	0.93	1.05	111.80	99.54
訪問看護収益	31,320,000	0.20	0.19	27,073,978 (4,000)	0.17	0.19	86.44	104.00
特別利益	10,947,000	0.07	0.07	10,947,302	0.07	0.06	100.00	86.74

予算額に対する決算割合は、市民病院事業収益では 102.63％で、前年度に比べ 1.24 ポイント上回っており、大江分院事業収益では 98.98％で、前年度に比べ 1.14 ポイント下回っている。病院事業収益全体では 102.45％となっており、前年度に比べて 1.13 ポイント上回っている。

事業費用について、予算額に対する決算額の状況は、次のとおりである。

〈収益的支出〉

（単位：円・％）

科目	予算額	構成比率 3年度	構成比率 2年度	決算額（うち仮払消費税及び地方消費税）	構成比率 3年度	構成比率 2年度	予算額に対する決算割合 3年度	予算額に対する決算割合 2年度
事業費用	15,625,921,000	100.00	100.00	15,246,531,622	100.00	100.00	97.57	96.72
市民病院事業費用	14,816,149,000	94.82	94.32	14,510,767,560	95.17	94.92	97.94	97.34
医業費用	14,129,546,000	90.42	88.47	13,865,184,661 (371,044,515)	90.94	89.04	98.13	97.35
医業外費用	534,168,000	3.42	3.37	504,780,746 (284,004)	3.31	3.37	94.50	96.89
看護学校費用	88,110,000	0.56	0.58	84,701,618 (857,683)	0.56	0.57	96.13	95.67
特別損失	62,125,000	0.40	1.89	56,100,535	0.37	1.93	90.30	98.62
予備費	2,200,000	0.01	0.01	0	－	－	－	－
大江分院事業費用	809,772,000	5.18	5.68	735,764,062	4.83	5.08	90.86	86.48
医業費用	763,288,000	4.88	5.30	690,966,876 (13,871,483)	4.53	4.75	90.53	86.71
医業外費用	6,343,000	0.04	0.04	6,341,381 (6,606)	0.04	0.04	99.97	90.92
訪問看護費用	37,741,000	0.24	0.29	37,194,984 (224,984)	0.24	0.25	98.55	84.76
特別損失	1,300,000	0.01	0.04	1,260,821	0.01	0.03	96.99	79.20
予備費	1,100,000	0.01	0.01	0	－	－	－	－

予算額に対する決算割合は、市民病院事業費用は 97.94％で、前年度に比べ 0.60 ポイント上回っており、大江分院事業費用は 90.86％で前年度に比べ 4.38 ポイント上回っている。病院事業費用全体では 97.57％で前年度に比べ 0.85 ポイント上回っている。

（2）資本的収支

資本的収支の予算額に対する決算額の状況は、次のとおりである。

〈資本的収支〉

（単位：円・%）

科目		予算額（うち前年度予算繰越額）	構成比率 3年度	構成比率 2年度	決算額（うち仮受・仮払消費税及び地方消費税）	構成比率 3年度	構成比率 2年度	予算額に対する決算割合 3年度	予算額に対する決算割合 2年度
市民病院資本的収入		1,132,109,000	100.00	100.00	981,253,000	100.00	100.00	86.67	94.03
	企業債	601,000,000	53.09	36.01	453,700,000	46.24	25.97	75.49	67.83
	他会計負担金	531,109,000	46.91	51.35	507,905,000	51.76	56.16	95.63	102.84
	補助金	0	－	12.21	19,648,000	2.00	17.39	－	133.95
	他会計補助金	－	－	0.43	－	－	0.47	－	102.63
市民病院資本的支出		1,605,742,000 (6,380,000)	100.00	100.00	1,413,195,340	100.00	100.00	88.01	91.04
	建設改良費	807,514,000 (6,380,000)	50.29	44.33	614,967,760 (55,906,160)	43.52	38.85	76.16	79.79
	企業債償還金	798,228,000	49.71	55.67	798,227,580	56.48	61.15	100.00	100.00
市民病院収支不足額		△473,633,000	－	－	△431,942,340	－	－	91.20	84.79
大江分院資本的収入		33,597,000	100.00	100.00	36,317,000	100.00	100.00	108.10	94.68
	他会計負担金	33,597,000	100.00	88.07	34,216,000	94.21	87.89	101.84	94.50
	補助金	0	－	11.93	2,101,000	5.79	12.11	－	96.07
大江分院資本的支出		38,367,000 (3,839,000)	100.00	100.00	38,201,095	100.00	100.00	99.57	86.14
	建設改良費	5,544,000 (3,839,000)	14.45	33.71	5,379,000 (489,000)	14.08	23.05	97.02	58.90
	企業債償還金	32,823,000	85.55	66.29	32,822,095	85.92	76.95	100.00	100.00
大江分院収支不足額		△4,770,000	－	－	△1,884,095	－	－	39.50	3.90
収支不足額計		△478,403,000	－	－	△433,826,435	－	－	90.68	84.01

【補てん財源】

市民病院	損益勘定留保資金	469,991,000	99.23	99.50	429,846,999	99.51	99.61	91.46	84.88
	消費税及び地方消費税資本的収支調整額	3,642,000	0.77	0.50	2,095,341	0.49	0.39	57.53	65.97
	計	473,633,000	100.00	100.00	431,942,340	100.00	100.00	91.20	84.79
大江分院	損益勘定留保資金	4,762,000	99.83	98.96	1,865,767	99.03	83.75	39.18	3.30
	消費税及び地方消費税資本的収支調整額	8,000	0.17	1.04	18,328	0.97	16.25	229.10	60.75
	計	4,770,000	100.00	100.00	1,884,095	100.00	100.00	39.50	3.90
計		478,403,000			433,826,435			90.68	84.01

市民病院の決算額における資本的収入額は9億8,125万3,000円、資本的支出額は14億1,319万5,340円で、収支不足額4億3,194万2,340円は、補てん財源の損益勘定留保資金4億2,984万6,999円と消費税及び地方消費税資本的収支調整額209万5,341円で補てんされている。

大江分院の決算額における資本的収入額は、3,631万7,000円、資本的支出額は3,820万1,095円で、収支不足額188万4,095円は、補てん財源の損益勘定留保資金186万5,767円と消費税及び地方消費税資本的収支調整額1万8,328円で補てんされている。

3 経営状況（損益収支）について（消費税及び地方消費税を除く。）

損益収支の状況を年度別に比較すると次のとおりである。

〈損益収支の年度別比較〉

〔市民病院〕 （単位：円・％）

区　分	令和3年度	令和2年度	令和元年度	令和3年度対令和2年度	
				比較増減	増減率
(うち過年度損益修正益) 総　収　益	(0) 14,859,307,234	(0) 14,359,076,892	(1,308,180,528) 14,590,794,330	(0) 500,230,342	3.48
総　費　用	14,459,288,699	14,047,248,505	13,199,065,066	412,040,194	2.93
損　　益	400,018,535	311,828,387	1,391,729,264	88,190,148	28.28

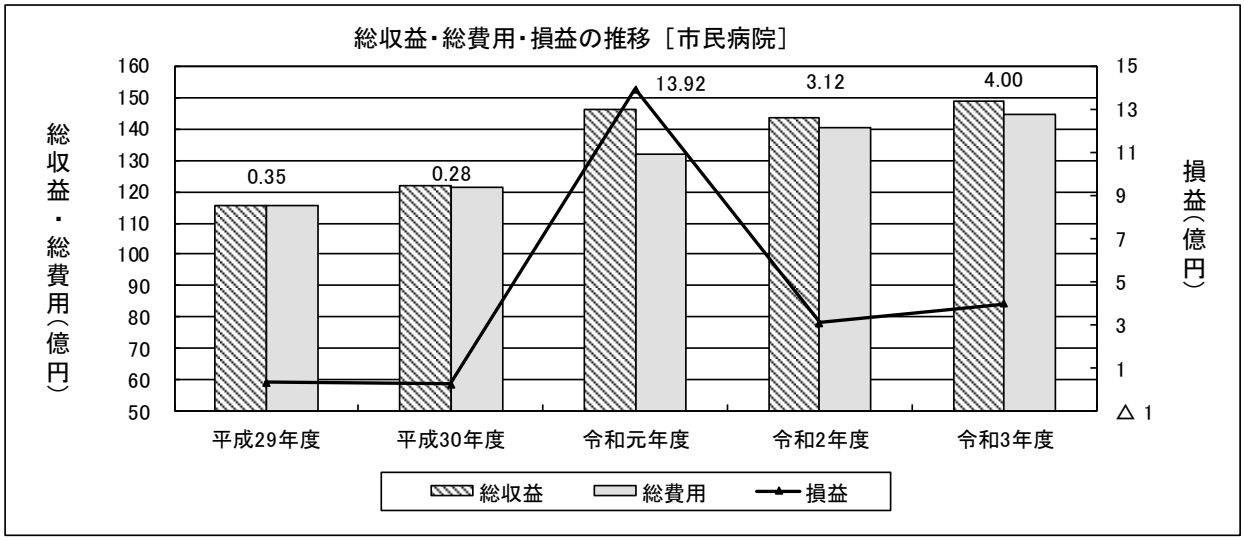
〔大江分院〕 （単位：円・％）

区　分	令和3年度	令和2年度	令和元年度	令和3年度対令和2年度	
				比較増減	増減率
(うち過年度損益修正益) 総　収　益	(0) 751,768,835	(0) 804,344,115	(149,385,829) 988,653,255	(0) △52,575,280	△6.54
総　費　用	733,865,705	752,486,290	810,653,550	△18,620,585	△2.47
損　　益	17,903,130	51,857,825	177,999,705	△33,954,695	△65.48

市民病院は、前年度に比べ総収益が 5 億 23 万 342 円（3.48％）増加し、総費用も 4 億 1,204 万 194 円（2.93％）増加した結果、損益収支は前年度に比べ 8,819 万 148 円増加の 4 億 1 万 8,535 円の黒字となっている。

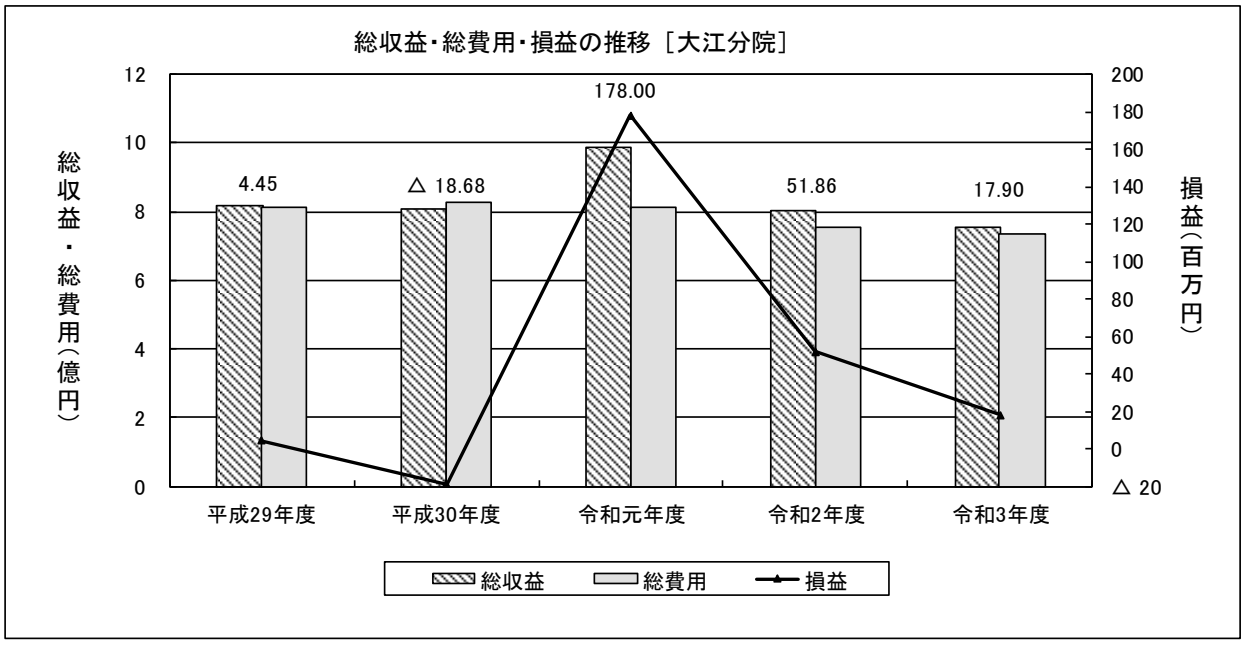
大江分院は、前年度に比べ総収益が 5,257 万 5,280 円（6.54％）減少し、総費用も 1,862 万 585 円（2.47％）減少し、損益収支は前年度に比べ 3,395 万 4,695 円減少したが、1,790 万 3,130 円の黒字となっている。

総収益、総費用及び損益の最近5か年の推移は次の図のとおりである。



市民病院と大江分院のいずれも令和元年度に総収益が大幅に増加しているが、その主要因は、会計基準の変更に伴う修正を令和元年度に行い、一般会計負担金のうち償却資産の財源となるもの（平成26～30年度分）を一括して特別利益（過年度損益修正益）として計上したことによるものである。

市民病院については、令和3年度の患者数は入院、外来ともに増加し、また、医療の高度化等により診療単価が伸びたため、総収益は増加している。その結果、平成 22 年度以降 12 年連続の黒字決算となっている。



大江分院については、入院・外来患者数の減少により診療収入は減少したが、費用の減少や新型コロナウイルス感染症関連の支援金受入などにより、令和3年度も黒字決算となっている。

事業費用を性質別に分類して、年度別に比較すると次のとおりである。

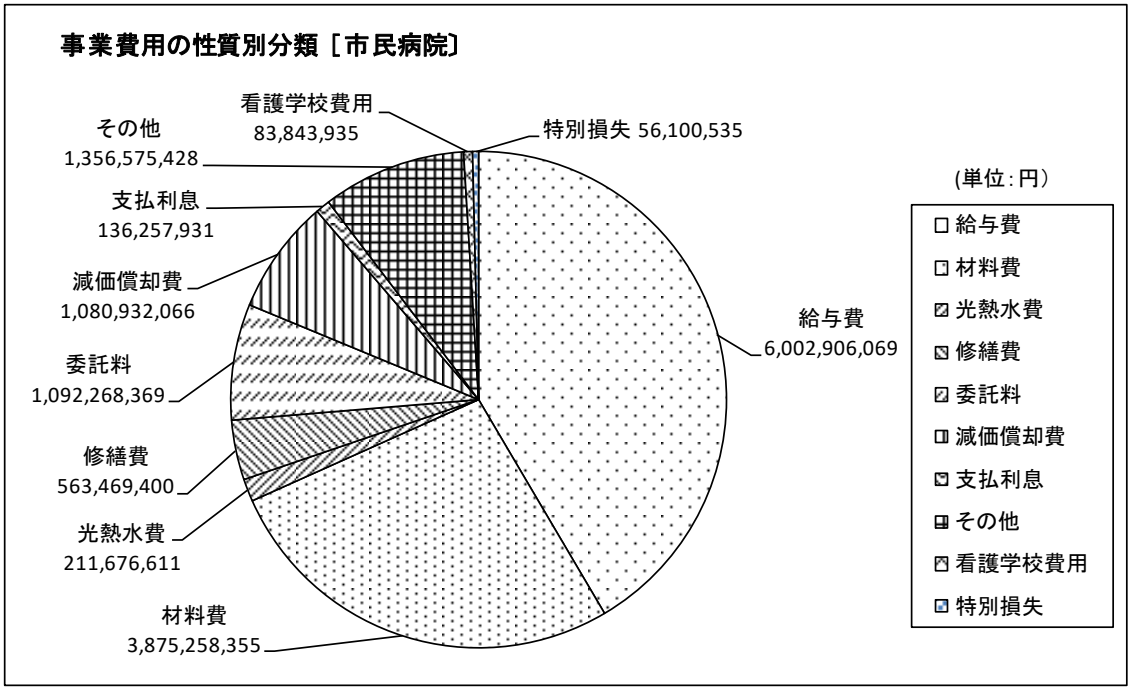
〔市民病院〕 （単位：円・％）

性質別分類	令和3年度		令和2年度		令和元年度		令和3年度対令和2年度	
	金　額	構成比率	金　額	構成比率	金　額	構成比率	比較増減	増減率
給　与　費	6,002,906,069	41.52	5,978,616,447	42.56	5,654,775,288	42.84	24,289,622	0.41
材　料　費	3,875,258,355	26.80	3,468,318,805	24.69	3,348,462,822	25.37	406,939,550	11.73
光熱水費	211,676,611	1.46	189,419,751	1.35	208,480,485	1.58	22,256,860	11.75
修　繕　費	563,469,400	3.90	521,562,116	3.71	414,052,784	3.14	41,907,284	8.03
委　託　料	1,092,268,369	7.55	1,027,680,028	7.32	1,041,870,769	7.89	64,588,341	6.28
減価償却費	1,080,932,066	7.48	1,055,952,723	7.52	1,027,540,539	7.78	24,979,343	2.37
支払利息	136,257,931	0.94	145,250,308	1.03	154,018,411	1.17	△8,992,377	△6.19
（うち企業債利息）	(136,257,931)	(0.94)	(145,250,308)	(1.03)	(154,018,411)	(1.17)	(△8,992,377)	(△6.19)
そ　の　他	1,356,575,428	9.38	1,289,749,209	9.18	1,229,294,031	9.31	66,826,219	5.18
看護学校費用	83,843,935	0.58	84,104,908	0.60	81,221,847	0.62	△260,973	△0.31
（うち給与費）	(66,784,394)	(0.46)	(65,155,205)	(0.46)	(64,890,645)	(0.49)	(1,629,189)	(2.50)
特別損失	56,100,535	0.39	286,594,210	2.04	39,348,090	0.30	△230,493,675	△80.43
計	14,459,288,699	100.00	14,047,248,505	100.00	13,199,065,066	100.00	412,040,194	2.93

（注） 給与費は、給料、手当等、報酬、賃金、法定福利費、退職給付費、賞与引当金繰入額、法定福利費引当金繰入額である。

市民病院の事業費用は、前年度に比べ 4 億 1,204 万 194 円（2.93％）増加している。

前年度に比べ増加した主なものは材料費、その他の費用、委託料、修繕費であり、減少したものは特別損失、支払利息、看護学校費用である。



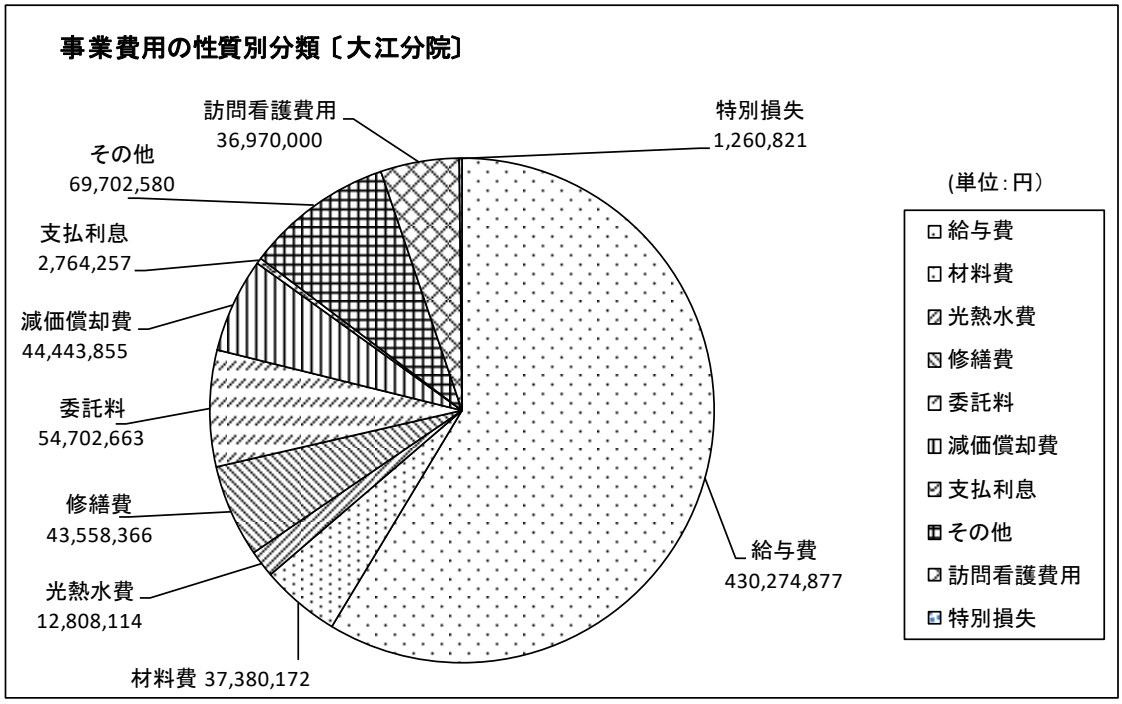
〔大江分院〕　　（単位：円・％）

性質別分類	令和3年度		令和2年度		令和元年度		令和3年度対令和2年度	
	金　額	構成比率	金　額	構成比率	金　額	構成比率	比較増減	増減率
給　与　費	430,274,877	58.63	464,048,317	61.67	492,135,453	60.71	△33,773,440	△7.28
材　料　費	37,380,172	5.09	36,016,112	4.79	42,563,067	5.25	1,364,060	3.79
光熱水費	12,808,114	1.75	11,093,272	1.47	11,092,683	1.37	1,714,842	15.46
修　繕　費	43,558,366	5.94	11,358,398	1.51	7,289,741	0.90	32,199,968	283.49
委　託　料	54,702,663	7.45	54,727,130	7.27	55,431,298	6.84	△24,467	△0.04
減価償却費	44,443,855	6.06	66,379,308	8.82	101,250,476	12.49	△21,935,453	△33.05
支払利息	2,764,257	0.38	2,972,744	0.40	3,200,138	0.39	△208,487	△7.01
(うち企業債利息)	(2,764,257)	(0.38)	(2,972,744)	(0.40)	(3,200,138)	(0.39)	(△208,487)	(△7.01)
そ　の　他	69,702,580	9.50	63,200,030	8.40	54,443,702	6.72	6,502,550	10.29
訪問看護費用	36,970,000	5.04	37,543,202	4.99	42,435,527	5.23	△573,202	△1.53
(うち給与費)	(34,534,654)	(4.71)	(35,040,985)	(4.66)	(39,732,742)	(4.90)	(△506,331)	(△1.44)
特別損失	1,260,821	0.17	5,147,777	0.68	811,465	0.10	△3,886,956	△75.51
計	733,865,705	100.00	752,486,290	100.00	810,653,550	100.00	△18,620,585	△2.47

（注）給与費は、給料、手当等、報酬、賃金、法定福利費、退職給付費、賞与引当金繰入額、法定福利費引当金繰入額である。

大江分院の事業費用は、前年度に比べ 1,862 万 585 円(2.47%)減少している。

前年度に比べ減少した主なものは給与費、減価償却費、特別損失であり、増加した主なものは修繕費、その他の費用、光熱水費である。



4 財政状況（貸借対照表）について

（1）資　産

固定資産・流動資産を前年度と比較すると、次のとおりである。

〈資産の前年度比較〉

〔市民病院〕　（単位：円）

区分		令和3年度	令和2年度	増減
固定資産		15,072,017,300	15,637,234,728	△565,217,428
	有形固定資産	14,759,734,219	15,298,268,944	△538,534,725
	投資その他の資産	312,283,081	338,965,784	△26,682,703
流動資産		8,842,018,408	7,822,951,891	1,019,066,517
	現金預金	6,357,978,610	5,566,945,411	791,033,199
	未収金	2,450,289,828	2,226,740,871	223,548,957
	貸倒引当金	△3,507,411	△4,345,729	838,318
	貯蔵品	36,168,481	32,525,338	3,643,143
	前払費用	1,088,900	1,086,000	2,900
資産合計		23,914,035,708	23,460,186,619	453,849,089

〔大江分院〕　（単位：円）

区分		令和3年度	令和2年度	増減
固定資産		762,156,488	803,594,465	△41,437,977
	有形固定資産	738,828,658	778,845,511	△40,016,853
	投資その他の資産	23,327,830	24,748,954	△1,421,124
流動資産		390,281,241	378,743,623	11,537,618
	現金預金	261,467,968	243,930,814	17,537,154
	未収金	128,797,433	134,796,969	△5,999,536
	前払費用	15,840	15,840	0
資産合計		1,152,437,729	1,182,338,088	△29,900,359

市民病院の資産は 239 億 1,403 万 5,708 円で、前年度より 4 億 5,384 万 9,089 円（1.93%）増加している。

固定資産は、150 億 7,201 万 7,300 円で、前年度に比べ 5 億 6,521 万 7,428 円減少している。主な要因は、建物等の減価償却などにより、有形固定資産が前年度に比べ 5 億 3,853 万 4,725 円減少したことによるものである。

流動資産は、88 億 4,201 万 8,408 円で、前年度に比べ 10 億 1,906 万 6,517 円増加している。主な要因は、現金預金や未収金の増加によるものである。

貯蔵品（内服薬・注射薬など）のたな卸については、現品過不足なく正確に処理されている。

大江分院の資産は、11 億 5,243 万 7,729 円で、前年度に比べ 2,990 万 359 円（2.53%）減少している。

固定資産は、7 億 6,215 万 6,488 円で、前年度に比べ 4,143 万 7,977 円減少している。主な要因は、建物等の減価償却などにより、有形固定資産が前年度に比べ 4,001 万 6,853 円減少したことによ

るものである。

流動資産は、3 億 9,028 万 1,241 円で、前年度に比べ 1,153 万 7,618 円増加している。主な要因は、現金預金の増加によるものである。

有形固定資産の増減状況は、次のとおりである。

〈有形固定資産の増減状況〉

〔市民病院〕 （単位：円）

項　目	増加したもの		減少したもの		増　減
	金　額	説　明	金　額	説　明	
器械備品	563,069,600	病院用機器 562,623,600 看護学校用機器 446,000	394,298,565	病院用機器 393,540,040 看護学校用機器 758,525	168,771,035
車　両	4,369,560	病院用車両 4,369,560	648,940	病院用車両 648,940	3,720,620
建設仮勘定	559,061,600	未供用資産 559,061,600	559,061,600	供用開始による振替 559,061,600	0
計	1,126,500,760	－	954,009,105	－	172,491,655

市民病院の年度末における有形固定資産の現在高は 273 億 9,531 万 4,020 円で、前年度に比べ 1 億 7,249 万 1,655 円増加している。減価償却累計額 126 億 3,557 万 9,801 円を控除すると令和3年度末の償却未済額は 147 億 5,973 万 4,219 円である。

〔大江分院〕 （単位：円）

項　目	増加したもの		減少したもの		増　減
	金　額	説　明	金　額	説　明	
建　物	－	－	740,208	施設用建物 740,208	△ 740,208
器械備品	4,890,000	病院用機器 4,890,000	951,323	病院用機器 951,323	3,938,677
建設仮勘定	4,890,000	未供用資産 4,890,000	4,890,000	供用開始による振替 4,890,000	0
計	9,780,000	－	6,581,531	－	3,198,469

大江分院の年度末における有形固定資産の現在高は 13 億 4,463 万 1,285 円で、前年度に比べ 319 万 8,469 円増加している。減価償却累計額 6 億 580 万 2,627 円を控除すると令和3年度末の償却未済額は 7 億 3,882 万 8,658 円である。

債権放棄により不納欠損処分されたものは、次のとおりである。

〈不納欠損処分の内訳〉

債 権 名	人数(人)	件数(件)	金 額 (円)	理 由 別 内 訳
診 療 費	16	79	5,848,318	生活保護 1人 1件 110,860円 自己破産 1人 7件 337,210円 時 効 7人 52件 4,532,924円 徴収停止 7人 19件 867,324円
計	16	79	5,848,318	

当年度の不納欠損は、前年度に比べ 14 人、22 件減少しているが、金額は 50 万 152 円増加している。

(2) 負 債

固定負債を前年度と比較すると、次のとおりである。

〈固定負債の前年度比較〉

〔市民病院〕 (単位:円)

科 目	令和3年度	令和2年度	増 減
企 業 債	7,009,449,494	7,341,563,845	△332,114,351
引 当 金	928,714,571	597,809,317	330,905,254
計	7,938,164,065	7,939,373,162	△1,209,097

〔大江分院〕 (単位:円)

科 目	令和3年度	令和2年度	増 減
企 業 債	371,116,845	404,157,696	△33,040,851
引 当 金	57,999,230	37,173,071	20,826,159
計	429,116,075	441,330,767	△12,214,692

市民病院の固定負債は、前年度に比べ 120 万 9,097 円(0.02%)減少し、79 億 3,816 万 4,065 円となっている。

企業債は、新規借入が 4 億 5,370 万円あったが、翌年度の償還額 7 億 8,581 万 4,351 円が流動負債に振り替えられたことにより 3 億 3,211 万 4,351 円の減少となっている。引当金は、退職給付引当金が 1 億 8,212 万 5,746 円取り崩されたが、新たに 4 億 865 万 1,000 円が計上されるとともに修繕引当金 5,438 万円、特別修繕引当金 5,000 万円が計上されたことにより 3 億 3,090 万 5,254 円増加している。

大江分院の固定負債は、前年度に比べ 1,221 万 4,692 円(2.77%)減少し、4 億 2,911 万 6,075 円となっている。

企業債は、翌年度の償還額 3,304 万 851 円が流動負債に振り替えられたことにより減少している。引当金は、退職給付引当金が 321 万 2,841 円取り崩されたが、新たに 903 万 9,000 円計上されるとともに修繕引当金 1,500 万円が計上されたことにより 2,082 万 6,159 円増加している。

流動負債を前年度と比較すると、次のとおりで不良債務はない。

〈流動負債の前年度比較〉

〔市民病院〕 （単位：円）

科　　目	令和3年度	令和2年度	増　　減
企　業　債	785,814,351	798,227,580	△12,413,229
未　払　金	1,123,245,041	1,013,774,801	109,470,240
未 払 費 用	7,900,587	8,064,219	△163,632
預　り　金	57,223,472	94,482,866	△37,259,394
引　当　金	352,024,000	348,213,000	3,811,000
計	2,326,207,451	2,262,762,466	63,444,985

〔大江分院〕 （単位：円）

科　　目	令和3年度	令和2年度	増　　減
企　業　債	33,040,851	32,822,095	218,756
未　払　金	32,724,557	43,851,047	△11,126,490
未 払 費 用	1,050,913	790,681	260,232
預　り　金	99,650	5,810	93,840
引　当　金	25,804,000	31,380,000	△5,576,000
計	92,719,971	108,849,633	△16,129,662

市民病院の流動負債は、預り金や企業債などは減少したものの未払金や引当金の増加により、前年度に比べ 6,344 万 4,985 円（2.80％）増の 23 億 2,620 万 7,451 円となっている。

大江分院の流動負債は、未払費用などは増加したが、未払金と引当金が減少したことにより前年度に比べ 1,612 万 9,662 円（14.82％）減の 9,271 万 9,971 円となっている。

繰延収益を前年度と比較すると、次のとおりである。

〈繰延収益の前年度比較〉

〔市民病院〕 （単位:円）

科　　目	令和3年度	令和2年度	増　　減
長期前受金	4,937,891,190	4,511,541,879	426,349,311
長期前受金収益化累計額	△3,666,845,207	△3,191,270,562	△475,574,645
計	1,271,045,983	1,320,271,317	△49,225,334

〔大江分院〕 （単位:円）

科　　目	令和3年度	令和2年度	増　　減
長期前受金	851,786,550	816,505,110	35,281,440
長期前受金収益化累計額	△591,393,790	△536,653,215	△54,740,575
計	260,392,760	279,851,895	△19,459,135

繰延収益は、前年度に比べ市民病院では 4,922 万 5,334 円(3.73%)減少し 12 億 7,104 万 5,983 円となっており、大江分院では 1,945 万 9,135 円(6.95%)減少し 2 億 6,039 万 2,760 円となっている。

(3) 資本金

資本金を前年度と比較すると、次のとおりである。

〈資本金の前年度比較〉

〔市民病院〕 （単位:円）

科　　目	令和3年度	令和2年度	増　　減
資本金	5,049,163,092	5,008,343,092	40,820,000
自己資本金	5,049,163,092	5,008,343,092	40,820,000
固有資本金	235,358,092	235,358,092	0
繰入資本金	4,480,505,000	4,439,685,000	40,820,000
組入資本金	333,300,000	333,300,000	0

〔大江分院〕 （単位:円）

科　　目	令和3年度	令和2年度	増　　減
資本金	0	0	0

市民病院の資本金は 50 億 4,916 万 3,092 円であり、前年度に比べ 4,082 万円(0.82%)増加している。また、大江分院の資本金は 0 円であり増減はない。

（4）剰余金

剰余金を前年度と比較すると、次のとおりである。

〈剰余金の前年度比較〉

〔市民病院〕 （単位：円）

科　　目	令和3年度	令和2年度	増　　減
剰　余　金	7,329,455,117	6,929,436,582	400,018,535
資本剰余金	7,278,156,635	7,278,156,635	0
受贈財産評価額	7,033,428,635	7,033,428,635	0
補　助　金	244,728,000	244,728,000	0
利益剰余金	51,298,482	△348,720,053	400,018,535
当年度未処分利益剰余金	51,298,482	△348,720,053	400,018,535

〔大江分院〕 （単位：円）

科　　目	令和3年度	令和2年度	増　　減
剰　余　金	370,208,923	352,305,793	17,903,130
資本剰余金	102,039,364	102,039,364	0
受贈財産評価額	102,039,364	102,039,364	0
利益剰余金	268,169,559	250,266,429	17,903,130
当年度未処分利益剰余金	268,169,559	250,266,429	17,903,130

市民病院の剰余金は 73 億 2,945 万 5,117 円であり、前年度に比べ 4 億 1 万 8,535 円（5.77%）増加している。当年度純利益が 4 億 1 万 8,535 円計上されたことにより、前年度繰越欠損金 3 億 4,872 万 53 円を解消し、当年度未処分利益剰余金が 5,129 万 8,482 円となっている。

大江分院の剰余金は 3 億 7,020 万 8,923 円となっており、前年度に比べ 1,790 万 3,130 円（5.08%）増加している。利益剰余金は、当年度純利益が 1,790 万 3,130 円計上されたことにより、2 億 6,816 万 9,559 円となっている。

5 キャッシュ・フローについて

キャッシュ・フローの状況は、次のとおりである。

＜キャッシュ・フローの状況＞

〔市民病院〕 （単位:円）

区　　分	金　　額
A　資金期首残高	5,566,945,411
①　業務活動によるキャッシュ・フロー	1,156,541,619
②　投資活動によるキャッシュ・フロー	△484,039,840
③　財務活動によるキャッシュ・フロー	118,531,420
B　資金増減額　（①＋②＋③）	791,033,199
C　資金期末残高　（A＋B）	6,357,978,610

〔大江分院〕 （単位:円）

区　　分	金　　額
A　資金期首残高	243,930,814
①　業務活動によるキャッシュ・フロー	19,402,921
②　投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,865,672
③　財務活動によるキャッシュ・フロー	△95
B　資金増減額　（①＋②＋③）	17,537,154
C　資金期末残高　（A＋B）	261,467,968

キャッシュ・フロー計算書の資金期末残高は、市民病院、大江分院とも貸借対照表における流動資産の現金預金の額と一致している。

６ む す び

業務実績をみると、市民病院の令和3年度の年間延患者数については、入院が 11 万 2,834 人で前年度に比べ 258 人(0.23%)の増加、外来は 23 万 6,390 人で前年度に比べ 10,720 人(4.75%)の増加、総患者数は 1 万 978 人(3.25%)の増加となっている。これを1日平均でみると、入院患者は 0.70 人の増加、外来患者については 48.14 人の増加となっている。

また、大江分院では主に人口動態による受診者数の減少が影響し、入院が 1 万 9,793 人で前年度に比べ 1,106 人(5.29%)の減少、外来は 1 万 4,293 人で前年度に比べ 1,110 人(7.21%)の減少、総患者数は 2,216 人(6.10%)の減少となっており、これを1日平均でみると、前年度よりも入院患者数は 3.03 人の減少、外来患者数は 4.33 人の減少となっている。

市民病院においては入院・外来ともに患者数が増加したことに加え、がん治療や血管内治療などの高度医療や手術件数の増加等による診療単価の伸びにより医業収益は増加している。また、医業費用についても、がん治療をはじめとする高額医薬品や手術材料などの材料費や委託料、修繕費などの経費が増えたが、検査・治療・ワクチン接種など、新型コロナウイルス感染症に対応した市民病院の医療提供に対する国・府からの支援措置などもあり、当年度純利益が 4 億 1 万 8,535 円計上され、平成 22 年度以降 12 年連続の黒字決算となっている。これにより、病院全面改築事業により平成 18 年度以降抱えていた累積欠損金は解消され、5,129 万 8,482 円の未処分利益剰余金を計上している。

また、大江分院においても同様に当年度純利益 1,790 万 3,130 円が計上され、未処分利益剰余金は 2 億 6,816 万 9,559 円となっている。

債権の放棄に伴う不納欠損処分は、16 人、79 件、584 万 8,318 円であり、前年度に比べ 14 人、22 件減少しているが、金額は 50 万 152 円の増加となっている。いずれも法令の規定により処理されているが、今後とも負担の公平性を確保するため適正な債権管理に努め、合わせて新規未納者の発生を防止するため、早い段階での相談業務等その徴収体制を維持・継続されたい。

次に経営分析からみた経営の状況は以下のとおりである。

① 流動比率については、1年以内に現金化できる資産と支払わなければならない負債を比較して安全性を判断する指標であり、一般的には 200%以上が理想とされている。市民病院は前年度に比べ 34.37 ポイント向上して 380.10%となり、大江分院については、前年度に比べ 72.97 ポイント向上して 420.92%となっている。

② 固定資産回転率については、事業収益と設備投資に投入された資本との関係で設備利用の度合いを見る指標であり、大きいほど良いとされている。市民病院は前年度に比べ 0.080 回向上し、0.864 回となっている。大江分院は、前年度に比べ 0.001 回低下し、0.727 回となっている。

③ 固定長期適合率については、固定資産が資本の範囲内で調達されているかを示す指標であり、100%以下が健全とされており、市民病院は前年度と比べ 3.95 ポイント向上し、69.82%となっており、大江分院は前年度と比べ 2.94 ポイント向上し、71.92%となっている。

④ 利益比率については、利益幅の程度を示す指標であり、高いほど良好とされており、市民病院は前年度に比べ 0.53 ポイント向上し 3.02%となっている。大江分院は前年度と比べ 5.39 ポイント低下し、3.15%となっている。

（参考資料）

① 流動比率 ＝ 流動資産 ／ 流動負債 × 100

	令和3年度	令和2年度
市	380.10%	345.73%
大	420.92%	347.95%

② 固定資産回転率 ＝ 医業収益 ／ （期末固定資産＋期首固定資産）÷2

	令和3年度	令和2年度
市	0.864回	0.784回
大	0.727回	0.728回

③ 固定長期適合率 ＝ 固定資産 ／ 自己資本+固定負債+繰延収益 × 100

（自己資本＝自己資本金＋剰余金）

	令和3年度	令和2年度
市	69.82%	73.77%
大	71.92%	74.86%

④ 利益比率 ＝ 利益 ／ 医業収益 × 100

	令和3年度	令和2年度
市	3.02%	2.49%
大	3.15%	8.54%

（注）表の上段は市民病院、下段は大江分院

総務省が公表している令和2年度決算に係る公立病院の経営比較分析表によると、市民病院については、病床利用率、入院・外来患者数は、ともに全国及び類似病院の平均を上回っており、職員1人当たりの診療収入も同様に良好な状況にある。

令和3年度の病院事業の運営については、高度化、多様化する本市や近隣市町住民の医療ニーズに応えるため、整形外科に膝関節手術用支援ロボット「ROSA Knee システム」の導入や放射線科の血管撮影装置、臨床検査科の自動遺伝子解析装置などの医療機器の整備・更新を進めるなど、新型コロナウイルス感染症対策を含めたさらなる医療提供体制の充実が図られている。

新型コロナウイルス感染症に関しては、引き続き発熱外来を設置し、感染者の早期発見と治療にあたるとともに、結核病床を感染症病床に加え新型コロナウイルス感染症専用病床として運用し、また、1万1千回を超えるワクチン接種を実施するなど、京都府の感染症指定医療機関としての役割を大いに果たしている。

さらに、「地域がん診療連携拠点病院」の指定を受けている市民病院では、がん手術における精度向上や患者の負担軽減等を目的として、前年度から手術ロボット装置の整備に着手しており、年度当初に手術支援ロボット「ダヴィンチ」を導入し泌尿器科で使用開始されている。今後も、さらに高度で質の高いがん治療の推進が図られることを期待する。

大江分院については、引き続き経営努力と、地域の人口動態や医療ニーズの変化等、将来を見据えて地域特性に応じた運営が必要とされている。今後においても地域住民が安心、安全に暮らせるよう京都府や関係機関ともさらに連携を深め、適切な地域医療体制が確保されることを期待する。

市立福知山市民病院が、「命と健康を守り、信頼される病院」という基本理念のもと、安定した経営を維持し、時代の変化や様々な医療ニーズに応える基幹的総合病院として一層進化しつづけられることを望むものである。

1　損益計算書構成並びにすう勢比率表　〔市民病院〕

（注）すう勢比率は、令和元年度を100%とする。

借方 科目	金額	構成比率 令和3年度	構成比率 令和2年度	すう勢比率 令和3年度	すう勢比率 令和2年度	貸方 科目	金額	構成比率 令和3年度	構成比率 令和2年度	すう勢比率 令和3年度	すう勢比率 令和2年度
	円	%	%	%	%		円	%	%	%	%
1 医業費用	13,494,140,146	93.33	91.70	109.19	104.23	1 医業収益	13,263,771,978	89.26	87.29	108.54	102.57
(1) 給与費	6,002,906,069	41.52	42.56	106.16	105.73	(1) 入院収益	7,801,628,707	52.50	52.47	106.37	102.72
(2) 材料費	3,875,258,355	26.80	24.69	115.73	103.58	(2) 外来収益	4,661,874,542	31.37	29.76	114.50	104.94
(3) 経費	2,487,002,335	17.20	16.47	109.90	102.24	(3) 他会計負担金	217,071,000	1.46	1.45	91.73	87.90
(4) 減価償却費	1,080,932,066	7.48	7.52	105.20	102.77	(4) その他医業収益	583,197,729	3.92	3.62	101.00	89.93
(5) 資産減耗費	8,837,098	0.06	0.18	80.27	224.05	2 医業外収益	1,480,630,593	9.96	10.40	153.03	154.33
(6) 研究研修費	39,204,223	0.27	0.29	72.92	74.69	(1) 受取利息	6,985,834	0.05	0.05	105.30	113.55
2 医業外費用	825,204,083	5.71	5.66	114.63	110.45	(2) 他会計負担金	505,277,000	3.40	3.44	109.66	107.17
(1) 支払利息	136,257,931	0.94	1.03	88.47	94.31	(3) 他会計補助金	19,206,723	0.13	0.01	1,067.04	113.60
(2) 院内保育所費	21,877,712	0.15	0.19	89.18	110.11	(4) 補助金	372,775,809	2.51	3.19	844.10	1,036.08
(3) 長期前払消費税償却	80,397,798	0.56	0.56	103.24	101.01	(5) 院内保育所収益	2,872,293	0.02	0.03	75.74	104.64
(4) 雑支出	586,670,642	4.06	3.87	126.58	117.41	(6) 長期前受金戻入	509,390,930	3.43	3.30	131.12	121.87
3 看護学校費用	83,843,935	0.58	0.60	103.23	103.55	(7) その他医業外収益	64,122,004	0.43	0.38	103.59	88.65
(1) 給与費	66,784,394	0.46	0.46	102.92	100.41	3 看護学校収益	80,055,423	0.54	0.53	104.27	98.35
(2) 経費	11,633,570	0.08	0.10	97.18	120.59	(1) 授業料収益	9,000,000	0.06	0.07	81.52	96.74
(3) 減価償却費	5,314,071	0.04	0.03	122.28	102.41	(2) 受験手数料収益	420,000	0.00	0.00	75.68	94.59
(4) 資産減耗費	111,900	0.00	0.00	800.43	448.00	(3) 入学金収益	3,000,000	0.02	0.03	80.00	96.00
4 特別損失	56,100,535	0.39	2.04	142.57	728.36	(4) 他会計負担金	66,925,000	0.45	0.41	109.48	96.36
						(5) その他看護学校収益	710,423	0.00	0.00	232.18	222.30
小計	14,459,288,699	100.00	100.00	109.55	106.43	補助金	－	－	0.01	－	－
当年度純利益	400,018,535	－	－	28.74	22.41	4 特別利益	34,849,240	0.23	1.79	2.63	19.35
合計	14,859,307,234	－	－	101.84	98.41	合計	14,859,307,234	100.00	100.00	101.84	98.41

2　損益計算書構成並びにすう勢比率表　〔大江分院〕

（注）すう勢比率は、令和元年度を100%とする。

借方						貸方					
科目	金額	構成比率		すう勢比率		科目	金額	構成比率		すう勢比率	
		令和3年度	令和2年度	令和3年度	令和2年度			令和3年度	令和2年度	令和3年度	令和2年度
	円	%	%	%	%		円	%	%	%	%
1 医業費用	677,095,393	92.26	92.06	90.09	92.18	1 医業収益	569,198,938	75.71	75.47	90.69	96.72
(1) 給与費	430,274,877	58.63	61.67	87.43	94.29	(1) 入院収益	422,752,089	56.23	56.21	87.33	93.41
(2) 材料費	37,380,172	5.09	4.79	87.82	84.62	(2) 外来収益	124,102,861	16.51	17.12	96.45	107.05
(3) 経費	163,535,161	22.28	16.58	144.33	110.11	(3) その他医業収益	22,343,988	2.97	2.14	149.75	115.19
(4) 減価償却費	44,443,855	6.06	8.82	43.89	65.56	2 医業外収益	144,552,617	19.23	19.83	82.53	91.05
(5) 資産減耗費	462,998	0.06	0.02	615.08	204.58	(1) 受取利息	292,017	0.04	－	皆増	－
(6) 研究研修費	998,330	0.14	0.19	44.93	63.45	(2) 他会計負担金	73,618,000	9.79	8.92	106.69	103.95
2 医業外費用	18,539,491	2.53	2.26	116.94	107.40	(3) 補助金	21,501,000	2.86	2.02	3,125.15	2,356.89
(1) 支払利息	2,764,257	0.38	0.40	86.38	92.89	(4) 長期前受金戻入	44,827,996	5.96	8.25	44.45	65.78
(2) 長期前払消費税償却	1,890,959	0.26	0.26	95.44	100.00	(5) その他医業外収益	4,313,604	0.57	0.65	93.26	112.56
(3) 雑支出	13,884,275	1.89	1.60	130.10	113.12	3 訪問看護収益	27,069,978	3.60	3.60	85.98	91.95
3 訪問看護費用	36,970,000	5.04	4.99	87.12	88.47	(1) 訪問看護収益	20,227,246	2.69	2.69	83.94	89.73
(1) 給与費	34,534,654	4.71	4.66	86.92	88.19	(2) 訪問看護利用料収益	1,873,102	0.25	0.27	74.35	85.08
(2) 経費	2,435,346	0.33	0.33	90.11	92.58	(3) 居宅介護支援収益	4,969,630	0.66	0.64	102.10	106.47
4 特別損失	1,260,821	0.17	0.68	155.38	634.38	4 特別利益	10,947,302	1.46	1.10	7.09	5.72
小計	733,865,705	100.00	100.00	90.53	92.82						
当年度純利益	17,903,130	－	－	10.06	29.13						
合計	751,768,835	－	－	76.04	81.36	合計	751,768,835	100.00	100.00	76.04	81.36

3　貸借対照表構成並びにすう勢比率表　　〔市民病院〕

（注）すう勢比率は、令和元年度を100%とする。

借方						貸方					
科目	金額	構成比率		すう勢比率		科目	金額	構成比率		すう勢比率	
		令和3年度	令和2年度	令和3年度	令和2年度			令和3年度	令和2年度	令和3年度	令和2年度
	円	%	%	%	%		円	%	%	%	%
1 固定資産	15,072,017,300	63.03	66.65	92.25	95.71	1 固定負債	7,938,164,065	33.19	33.84	96.88	96.90
(1) 有形固定資産	14,759,734,219	61.72	65.21	92.46	95.84	(1) 企業債	7,009,449,494	29.31	31.29	88.57	92.76
(2) 投資その他の資産	312,283,081	1.31	1.44	83.10	90.20	(2) 引当金	928,714,571	3.88	2.55	332.42	213.98
2 流動資産	8,842,018,408	36.97	33.35	134.40	118.91	2 流動負債	2,326,207,451	9.73	9.65	122.43	119.09
(1) 現金預金	6,357,978,610	26.59	23.73	135.58	118.71	(1) 企業債	785,814,351	3.29	3.40	103.34	104.98
(2) 未収金	2,450,289,828	10.25	9.49	131.68	119.66	(2) 未払金	1,123,245,041	4.70	4.32	148.16	133.72
貸倒引当金	△ 3,507,411	△0.01	△0.02	－	－	(3) 未払費用	7,900,587	0.03	0.03	85.74	87.51
(3) 貯蔵品	36,168,481	0.15	0.14	112.19	100.89	(4) 預り金	57,223,472	0.24	0.40	113.66	187.67
(4) 前払費用	1,088,900	0.00	0.00	80.29	80.07	(5) 引当金	352,024,000	1.47	1.48	109.32	108.13
						3 繰延収益	1,271,045,983	5.32	5.63	102.64	106.61
						(1) 長期前受金	4,937,891,190	20.65	19.23	125.44	114.61
						(2) 長期前受金収益化累計額	△ 3,666,845,207	△15.33	△13.60	－	－
						4 資本金	5,049,163,092	21.11	21.35	101.64	100.81
						(1) 自己資本金	5,049,163,092	21.11	21.35	101.64	100.81
						5 剰余金	7,329,455,117	30.65	29.54	110.76	104.71
						(1) 資本剰余金	7,278,156,635	30.43	31.02	100.00	100.00
						(2) 利益剰余金（欠損金）	51,298,482	0.21	△1.49	－	－
資産合計	23,914,035,708	100.00	100.00	104.35	102.37	負債資本合計	23,914,035,708	100.00	100.00	104.35	102.37

4　貸借対照表構成並びにすう勢比率表　　〔大江分院〕

（注）すう勢比率は、令和元年度を100%とする。

借方						貸方					
科目	金額	構成比率		すう勢比率		科目	金額	構成比率		すう勢比率	
		令和3年度	令和2年度	令和3年度	令和2年度			令和3年度	令和2年度	令和3年度	令和2年度
	円	%	%	%	%		円	%	%	%	%
1 固定資産	762,156,488	66.13	67.97	88.31	93.11	1 固定負債	429,116,075	37.24	37.33	91.95	94.57
(1) 有形固定資産	738,828,658	64.11	65.87	88.26	93.04	(1) 企業債	371,116,845	32.20	34.18	84.93	92.49
(2) 投資その他の資産	23,327,830	2.02	2.09	89.92	95.40	(2) 引当金	57,999,230	5.03	3.14	195.39	125.23
2 流動資産	390,281,241	33.87	32.03	121.88	118.27	2 流動負債	92,719,971	8.05	9.21	88.67	104.09
(1) 現金預金	261,467,968	22.69	20.63	126.87	118.36	(1) 企業債	33,040,851	2.87	2.78	108.84	108.12
(2) 未収金	128,797,433	11.18	11.40	112.86	118.12	(2) 未払金	32,724,557	2.84	3.71	82.53	110.59
(3) 前払費用	15,840	0.00	0.00	100.00	100.00	(3) 未払費用	1,050,913	0.09	0.07	158.97	119.61
						(4) 預り金	99,650	0.01	0.00	－	－
						(5) 引当金	25,804,000	2.24	2.65	76.11	92.55
						3 繰延収益	260,392,760	22.59	23.67	83.57	89.81
						(1) 長期前受金	851,786,550	73.91	69.06	109.32	104.79
						(2) 長期前受金収益化累計額	△ 591,393,790	△51.32	△45.39	－	－
						4 資本金	－	－	－	－	－
						(1) 自己資本金	－	－	－	－	－
						5 剰余金	370,208,923	32.12	29.80	123.22	117.26
						(1) 資本剰余金	102,039,364	8.85	8.63	100.00	100.00
						(2) 利益剰余金	268,169,559	23.27	21.17	135.16	126.14
資産合計	1,152,437,729	100.00	100.00	97.39	99.92	負債資本合計	1,152,437,729	100.00	100.00	97.39	99.92

5 診療科目別・月別入院患者数の状況表

〔市民病院〕

上段：延　患　者　数
下段：一日平均患者数　　（単位：人）

診療科／月	内 科	呼吸器内科	消化器内科	循環器内科	血液内科	腫瘍内科	腎臓内科	糖尿病内科	小児科	外 科	整形外科	形成外科	脳神経外科	小児外科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼 科	耳 鼻いんこう科	放射線科	リハビリテーション科	救急科	計
4	535	371	867	575	989	1,018	124	75	151	591	1,385	3	710	6	187	251	344	64	177	3	1,316	50	9,792
	17.83	12.37	28.90	19.17	32.97	33.93	4.13	2.50	5.03	19.70	46.17	0.10	23.67	0.20	6.23	8.37	11.47	2.13	5.90	0.10	43.87	1.67	326.40
5	582	496	709	690	1,130	674	74	46	263	543	1,274	4	666	5	156	243	381	56	140	0	1,350	62	9,544
	18.77	16.00	22.87	22.26	36.45	21.74	2.39	1.48	8.48	17.52	41.10	0.13	21.48	0.16	5.03	7.84	12.29	1.81	4.52	0.00	43.55	2.00	307.87
6	574	223	742	606	1,146	828	135	82	198	535	1,070	64	513	5	172	217	388	66	129	4	1,313	63	9,073
	19.13	7.43	24.73	20.20	38.20	27.60	4.50	2.73	6.60	17.83	35.67	2.13	17.10	0.17	5.73	7.23	12.93	2.20	4.30	0.13	43.77	2.10	302.43
7	706	260	845	640	1,231	880	143	121	368	519	845	15	390	24	263	281	351	40	153	3	1,327	69	9,474
	22.77	8.39	27.26	20.65	39.71	28.39	4.61	3.90	11.87	16.74	27.26	0.48	12.58	0.77	8.48	9.06	11.32	1.29	4.94	0.10	42.81	2.23	305.61
8	706	520	755	545	1,088	689	86	199	320	524	1,041	16	343	5	147	291	450	126	143	3	1,324	63	9,384
	22.77	16.77	24.35	17.58	35.10	22.23	2.77	6.42	10.32	16.90	33.58	0.52	11.06	0.16	4.74	9.39	14.52	4.06	4.61	0.10	42.71	2.03	302.71
9	641	424	936	423	987	762	34	147	233	527	972	65	506	1	93	287	467	86	167	7	1,293	105	9,163
	21.37	14.13	31.20	14.10	32.90	25.40	1.13	4.90	7.77	17.57	32.40	2.17	16.87	0.03	3.10	9.57	15.57	2.87	5.57	0.23	43.10	3.50	305.43
10	578	397	917	690	914	802	58	97	281	661	1,190	36	548	12	134	200	468	55	208	10	1,359	140	9,755
	18.65	12.81	29.58	22.26	29.48	25.87	1.87	3.13	9.06	21.32	38.39	1.16	17.68	0.39	4.32	6.45	15.10	1.77	6.71	0.32	43.84	4.52	314.68
11	523	298	882	747	924	804	92	81	300	493	1,070	13	540	14	118	296	412	52	151	0	1,310	109	9,229
	17.43	9.93	29.40	24.90	30.80	26.80	3.07	2.70	10.00	16.43	35.67	0.43	18.00	0.47	3.93	9.87	13.73	1.73	5.03	0.00	43.67	3.63	307.63
12	583	357	799	854	892	667	85	82	143	471	1,241	27	545	3	194	239	412	43	181	0	1,336	40	9,194
	18.81	11.52	25.77	27.55	28.77	21.52	2.74	2.65	4.61	15.19	40.03	0.87	17.58	0.10	6.26	7.71	13.29	1.39	5.84	0.00	43.10	1.29	296.58
1	732	628	870	716	893	712	74	60	149	581	1,119	60	578	1	186	341	386	50	150	2	1,350	66	9,704
	23.61	20.26	28.06	23.10	28.81	22.97	2.39	1.94	4.81	18.74	36.10	1.94	18.65	0.03	6.00	11.00	12.45	1.61	4.84	0.06	43.55	2.13	313.03
2	649	448	890	582	792	639	104	57	104	478	1,343	49	555	3	92	225	308	51	162	3	1,209	41	8,784
	23.18	16.00	31.79	20.79	28.29	22.82	3.71	2.04	3.71	17.07	47.96	1.75	19.82	0.11	3.29	8.04	11.00	1.82	5.79	0.11	43.18	1.46	313.71
3	589	588	952	735	1,001	638	81	41	180	544	1,281	37	596	15	81	412	389	67	148	6	1,323	34	9,738
	19.00	18.97	30.71	23.71	32.29	20.58	2.61	1.32	5.81	17.55	41.32	1.19	19.23	0.48	2.61	13.29	12.55	2.16	4.77	0.19	42.68	1.10	314.13
計	7,398	5,010	10,164	7,803	11,987	9,113	1,090	1,088	2,690	6,467	13,831	389	6,490	94	1,823	3,283	4,756	756	1,909	41	15,810	842	112,834
	20.27	13.73	27.85	21.38	32.84	24.97	2.99	2.98	7.37	17.72	37.89	1.07	17.78	0.26	4.99	8.99	13.03	2.07	5.23	0.11	43.32	2.31	309.13

6　診療科目別・月別外来患者数の状況表

〔市民病院〕

上段：延　患　者　数
下段：一日平均患者数　　（単位：人）

診療科 / 月	診療日数（日）	内　科	精神神経科	脳神経内科	小児科	外　科	整形外科	形成外科	脳神経外科	心臓血管外科	小児外科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼　科	耳鼻いんこう科	放射線科	計
4	21	6,439	651	351	1,189	1,016	2,259	147	481	27	86	800	2,287	937	1,246	864	601	19,381
		306.62	31.00	16.71	56.62	48.38	107.57	7.00	22.90	1.29	4.10	38.10	108.90	44.62	59.33	41.14	28.62	922.90
5	18	5,897	630	300	1,183	934	1,967	118	431	10	80	751	2,187	979	1,141	815	469	17,892
		327.61	35.00	16.67	65.72	51.89	109.28	6.56	23.94	0.56	4.44	41.72	121.50	54.39	63.39	45.28	26.06	994.00
6	22	6,827	691	341	1,187	1,119	2,251	173	451	23	89	869	2,288	1,143	1,323	1,038	503	20,316
		310.32	31.41	15.50	53.95	50.86	102.32	7.86	20.50	1.05	4.05	39.50	104.00	51.95	60.14	47.18	22.86	923.45
7	20	6,638	748	349	1,247	1,202	2,142	201	454	17	115	818	2,334	1,099	1,158	942	440	19,904
		331.90	37.40	17.45	62.35	60.10	107.10	10.05	22.70	0.85	5.75	40.90	116.70	54.95	57.90	47.10	22.00	995.20
8	21	6,924	701	380	1,322	1,117	2,118	177	378	14	114	834	2,271	1,091	1,226	984	406	20,057
		329.71	33.38	18.10	62.95	53.19	100.86	8.43	18.00	0.67	5.43	39.71	108.14	51.95	58.38	46.86	19.33	955.10
9	20	6,754	702	367	1,024	1,199	2,167	193	417	19	87	859	2,313	1,138	1,153	926	410	19,728
		337.70	35.10	18.35	51.20	59.95	108.35	9.65	20.85	0.95	4.35	42.95	115.65	56.90	57.65	46.30	20.50	986.40
10	21	6,934	707	375	1,107	1,240	2,192	156	477	33	92	879	2,264	1,177	1,308	952	430	20,323
		330.19	33.67	17.86	52.71	59.05	104.38	7.43	22.71	1.57	4.38	41.86	107.81	56.05	62.29	45.33	20.48	967.76
11	20	7,311	684	370	1,109	1,211	2,207	171	445	32	97	806	2,305	1,296	1,260	980	428	20,712
		365.55	34.20	18.50	55.45	60.55	110.35	8.55	22.25	1.60	4.85	40.30	115.25	64.80	63.00	49.00	21.40	1,035.60
12	20	7,185	728	360	1,133	1,213	2,080	170	448	28	102	879	2,455	1,258	1,255	937	468	20,699
		359.25	36.40	18.00	56.65	60.65	104.00	8.50	22.40	1.40	5.10	43.95	122.75	62.90	62.75	46.85	23.40	1,034.95
1	19	6,713	655	346	1,201	992	1,954	116	359	27	86	854	2,315	1,049	1,202	801	315	18,985
		353.32	34.47	18.21	63.21	52.21	102.84	6.11	18.89	1.42	4.53	44.95	121.84	55.21	63.26	42.16	16.58	999.21
2	18	6,139	614	320	971	939	1,768	115	310	32	72	809	2,071	890	1,118	688	380	17,236
		341.06	34.11	17.78	53.94	52.17	98.22	6.39	17.22	1.78	4.00	44.94	115.06	49.44	62.11	38.22	21.11	957.56
3	22	7,167	768	378	1,191	1,132	2,337	171	434	20	120	1,000	2,439	1,132	1,314	965	589	21,157
		325.77	34.91	17.18	54.14	51.45	106.23	7.77	19.73	0.91	5.45	45.45	110.86	51.45	59.73	43.86	26.77	961.68
計	242	80,928	8,279	4,237	13,864	13,314	25,442	1,908	5,085	282	1,140	10,158	27,529	13,189	14,704	10,892	5,439	236,390
		334.41	34.21	17.51	57.29	55.02	105.13	7.88	21.01	1.17	4.71	41.98	113.76	54.50	60.76	45.01	22.48	976.82

＊呼吸器内科・消化器内科・循環器内科・血液内科・腫瘍内科・腎臓内科・糖尿病内科は内科に含む。

7　診療科目別・月別患者数の状況表

〔大江分院〕

上段：　延　患　者　数
下段：　一日平均患者数

【入院】　（単位：人）

診療科／月	診療日数（日）	内　　科	小　児　科	リハビリテーション科	計
4	30	1,682	－	－	1,682
		56.07	－	－	56.07
5	31	1,548	－	－	1,548
		49.94	－	－	49.94
6	30	1,527	－	－	1,527
		50.90	－	－	50.90
7	31	1,563	－	－	1,563
		50.42	－	－	50.42
8	31	1,674	－	－	1,674
		54.00	－	－	54.00
9	30	1,532	－	－	1,532
		51.07	－	－	51.07
10	31	1,512	－	－	1,512
		48.77	－	－	48.77
11	30	1,883	－	－	1,883
		62.77	－	－	62.77
12	31	1,922	－	－	1,922
		62.00	－	－	62.00
1	31	1,662	－	－	1,662
		53.61	－	－	53.61
2	28	1,508	－	－	1,508
		53.86	－	－	53.86
3	31	1,780	－	－	1,780
		57.42	－	－	57.42
計	365	19,793	－	－	19,793
		54.23	－	－	54.23

【外来】　（単位：人）

診療科／月	診療日数（日）	内　　科	小　児　科	リハビリテーション科	計
4	21	1,173	9	80	1,262
		55.86	0.43	3.81	60.10
5	18	1,080	3	85	1,168
		60.00	0.17	4.72	64.89
6	22	1,163	7	63	1,233
		52.86	0.32	2.86	56.05
7	20	1,133	8	70	1,211
		56.65	0.40	3.50	60.55
8	21	1,168	3	59	1,230
		55.62	0.14	2.81	58.57
9	20	1,138	3	58	1,199
		56.90	0.15	2.90	59.95
10	21	1,138	3	75	1,216
		54.19	0.14	3.57	57.90
11	20	1,083	6	79	1,168
		54.15	0.30	3.95	58.40
12	20	1,110	2	63	1,175
		55.50	0.10	3.15	58.75
1	19	1,083	2	68	1,153
		57.00	0.11	3.58	60.68
2	18	980	2	73	1,055
		54.44	0.11	4.06	58.61
3	22	1,137	6	80	1,223
		51.68	0.27	3.64	55.59
計	242	13,386	54	853	14,293
		55.31	0.22	3.52	59.06

8　企業債の償還予定表　〔市民病院〕

区分 年度	元　　金	利　　子	計
	円	円	円
令和4年度	785,814,351	127,345,012	913,159,363
令和5年度	897,001,572	117,970,176	1,014,971,748
令和6年度	752,763,323	108,338,165	861,101,488
令和7年度	666,112,259	98,484,892	764,597,151
令和8年度	619,152,328	88,438,882	707,591,210
令和9年度	515,789,451	78,226,267	594,015,718
令和10年度	526,161,158	67,854,560	594,015,718
令和11年度	493,158,566	57,496,800	550,655,366
令和12年度	503,041,969	47,613,397	550,655,366
令和13年度	468,696,807	37,670,655	506,367,462
令和14年度～令和30年度	1,567,572,061	67,150,083	1,634,722,144
合　　計	7,795,263,845	896,588,889	8,691,852,734

9　企業債の償還予定表　〔大江分院〕

区分 年度	元　　金	利　　子	計
	円	円	円
令和4年度	33,040,851	2,545,501	35,586,352
令和5年度	33,263,103	2,323,249	35,586,352
令和6年度	33,488,918	2,097,434	35,586,352
令和7年度	33,718,366	1,867,986	35,586,352
令和8年度	33,951,514	1,634,838	35,586,352
令和9年度	34,188,437	1,397,915	35,586,352
令和10年度	34,429,205	1,157,147	35,586,352
令和11年度	34,673,899	912,453	35,586,352
令和12年度	26,031,286	700,204	26,731,490
令和13年度	9,302,966	598,792	9,901,758
令和14年度～令和27年度	98,069,151	3,541,439	101,610,590
合　　計	404,157,696	18,776,958	422,934,654